

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。
プライス・コード{a ¥ 1 6 9 0 / A ¥ 1 8 9 0 / B ¥ 2 0 9 0 / C ¥ 2 2 5 0 / D ¥ 2 4 9 0}
(表示価格は税抜き) 別途消費税が加算されます

www.tambourine-japan.com email: song@tambourine-japan.com

注文方法サイト: <http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm>

Scotland(P4) USA{Old Time 他}(P25) CANADA{Trad 他}(P29)

[CD/ISLE OF MAN]

- *BARRULE: Barrule C
(副題“Music From The Isle Of Man”。収録時 19 歳の Tomas Callister {フィドル、バズン、ヴォー}, Jamie Smith {ヴォーカル、アコーディオン、ギター}, Adam Rhodes {ブラス、ヴォーカル} の若者トリオはマン島のトラッドに果敢に挑む。Jamie の毅然として悠々としたシンギングの素晴らしさもさることながら、フィドルとアコーディオンの演奏の緻密さと大胆さ、その二台をメインに据えた演奏の構成の見事さは天下一品。2012 作。Wardfell)

[CD/WALES]

- *ALLAN YN Y FAN: NEWID A
(Catrin O' Neill なる女性トラッド・シンガーとフィドル弾きの Alan Cooper を新メンバーに迎えた新生 Allan Yn Y Fan の新作。Allan Yn Y Fan 自体の音楽は、70 年代のブリティッシュ・トラッド風な土臭いトラッドで昨今のハイセンスなケルティックなトラッドとは一線を画した大御所トラッドの風合いで、Catrin の庭の花々に優雅なシンギングにお似合いのサウンドで、Catrin のシンギングも素敵に生えている。本作でのラインナップは三姫三太郎の六人組。2016 作。Steam Pie)
- *JULIE MURPHY: Every Bird That Flies A
(元 Fernhill のヴォーカルの J. Murphy の四枚目の新作。ウエールズのカントリーサイドの自宅でピアノの引き語りで作曲をしたという自作曲 6 曲と伝統歌 3 曲の計 9 曲。ピアノの引き語りを中心に制作された本作は、そのまま自宅で弾き語りしているような唄の瑞々しさと伴奏音楽の自由な清々しさ、それは彼女の音遊びするような、或いは室内で一音一音がエコーするような奏法によるところが多いと思われるが、そんな清々しい空気の中で、Julie の一筋の線を描くような、あるいは清い水の流れるようなシンギングは清々しく、深く、美しい。2016 作。Shells In The Ocean)
- *GWENAN GIBBARD: Y Gorwel Porffor A
(ウエールズ語を話す家庭で育ったという全曲ウエールズ語による Gwenan Gibbard の新作はハープの弾き語りによる 6 曲収録 CD。6 曲中 3 曲が伝統曲だが、彼女のハープの弾き語りには、伝統音楽一途というよりは、伝統音楽が子守歌のように真に身近な音楽として身につけていて、ウエールズ語の優しい響きのシンギングもハープの音色の真に優しい。すっかり春の花園で夢見気分保証。2015 作。Sain)
- *GWENAN GIBBARD: Y Gwenith Gwynnaf B
(ハープの小気味よい響きと Gwenan の美しく澄んだシンギングが作り出

- す世界は彼女独特な幽玄の世界。w. Maartin Allcock, Huw Roberts, Stephen Rees, Dafydd Roberts, Deian Elfryn. 2006 作。Sain)
- *FFYNNON: Adar Gwylltion (二枚目。2006 作。Taith) B
- *CARREG LAFAR: Ysbryd y Werin (1995 作。Sain) B
- *CALENNIG: Trade Winds – Gwyntoedo Mor Hafren B
(副題“Stories Of The Seven Sea”。1994 作。Sain)
- *NANSI RICHARDS: Brenhines y Delyn B
(副題。“Queen Of The Welsh Harp”。歴史的な録音集。44 トラック。Sain)
- *LLIO RHYDDERCH: Malangell (2000 作。Fflach:tradd)
- *MABON: OK Pewter B
(アコ奏者の Jamie Smith のアコガリター格のアコースティック&エレクトリック混在の抜群のりのケルティック・ミュージック。Jamie のアコの演奏はエレキッシュな演奏も聴き物だが、数少ないスローな曲での泣き節も聴きもの。体当たりの演奏でほとぼしる情感が凄い魅力。Mabon)
- *SIAN JAMES: Gweini Tymor (96 作。Sain) B
- *SIAN JAMES: Di-Gwsq (97 作。Sain) B
- *LLEUWEN: Penmon B
(ウェルズの異色の SSW、Lleuwen 嬢の 2007 作。ウェルズ語の唄による夢心地な唄&音楽世界を創作。w. Huw Warren, Thad Kelly, etc. 2007 作。Gwymon)
- *LINDA GRIFFITH: Storm Nos B
(ウェルズはモンゴメリー・シンガーの本作は、全曲ウェルズ語で、ウェルズの伝統歌への愛情や家族への愛情が、Linda のたおやかなシンギングで心に深く響くもの。Linda の二人の愛娘の Lisa Angharad と Gwenno Elan Healy が美しいハーモニーを添えている。w. Gwenan Gibbard, Chris Leslie, Maartin Allcock, etc. 2009 作。Sain)
- *SILD: Tro A
(エストニア人でヴォーカルと Hiiu-Kandleid というエストニアのフイドル系楽器奏者の Silje Ilves とギター&ハモンド・オルガンの Martin Leamon のウェルズで活動する二人組の Sild の本作は 2 枚目。ウェルズとエストニアの伝統歌だが、Silje の野趣な味わいを秘めた軽快で美しいシンギングとスクワットは絶品。トラッド・ファン必聴。2008 作。Fflach)
- *THE DEVIL'S VIOLIN a
(副題“Roma Gypsy Music And Tales From Wales And Beyond”。アコ、ヴァイオリン、チェロによるマケドニア〜ルーマニア〜ロシアのジプシー音楽とジプシー音楽を伴奏にした北ウェルズに伝わるジプシーの二つの物語。この二つの物語は Daniel Morden's Award という賞受賞の本“Dark Tales From The Wood”からの物語。不思議なお話は Daniel Morden 本人。2007 作。Taith)
- *BRAGOD: Kaing B
(ウェルズの 14~19 世紀の詩と音楽、イギリスの 6~7 世紀の詩集“The Book of Aneirin”からの歌と音楽そしてウェルズの 12 世紀のドラマ。Mary-Anne Roberts というシンガーの喉歌化する呪術的ヴォーカルは異空間へと運ぶしウェルズのヴァイオリン系古楽器の Crwth {クルス} とリラの伴奏と演奏は土俗的であり「異空間」度を増す。アワブやアビア的な匂いを

醸す古きウェルズ[°]のケルト音楽だ。P106の解説本付。CD-ROM機能付でシ
ガ-と奏者の生演奏が捧める。2004作。Bragod)

- *ROBIN JAMES-JONES:Telynegion B
(Nanci Richards等にハープを教わったというウェルシュ・ハープ奏者による
ウェルズのトラッドからアイルランド、スコットランド、アメリカのトラッドそしてガ-シュイン
の“Summertime”まで。フォーク系ハープ奏者の中では装飾の多いいわゆ
る一般にイメージされるハープ音楽風。ハープによる美しいケルト音楽・ファン
向き。全15曲夢心地。2004作。Sain)
- *ROBIN HUW BOWEN:Hen Aelwyd - Old Hearth B
(副題“Welsh Music On The Triple Harp To Fire The Soul”。ウエ
ールズのトリプル・ハープのソロ。1999作。Sain)
- *WILD WELSH WOMEN:Death Of The King's Canary B
(5人組の「野性ウェルズ女達」はTamzin&Roziの入魂のヴォーカルをメインに
据えたトラッド・バンド。音楽性はエレガントなことから荒武者フォーク・ロックまで
激流的。気概溢れる二人の女性のシンギングの見事さに言葉なし。
2003作。Airheart)
- *ARFON GWILYM:Proc i'r Tan B
(この中年トラッド・シンガ-は素晴らしい。Arfonの温厚なシンギングとワ
トなウェルズ語の響き、かつ主にハープの伴奏によるシンギングはビールを
片手に鼓舞するような朗々としたシンギングをも柔和というか優雅
な芳香を放つ。ウェルズの伝承歌を愛するAfronの極上のトラッド・アルバ
ム。英語解説&曲目解説付。2003作。Sain)
- *PHIL TANNER:The Gower Nightingale D
(副題“Ballads, Songs&Mouth Music from South Glamorgan
recorded in the 1930s&40s”。1930年代に見出された南ウェルズ出
身の偉大なトラッド・シンガ-のP. Tannerの1937年のBBC録音曲等を含む
貴重録音集。2003作。Veteran)
- *BOB DELYN a'r EBILLION:Dore B
(耽美的と言うべきか、女性シンガ-のTwm Morysの美味シンギングやハープ
伴奏の素朴な哀愁のフォークから入魂のフォーク・ロックそしてバルカン?アラブ?
風味をも取り込んだ暗黒ロックまでレンジの広さは北欧トラッド・バンド
をホ-ツさせる。2003作。Sain)
- *RAG FOUNDATION:Minka ¥1000
(特価。Rag FoundationはNeil Woollard{ヴォーカル}, Kate Woollard
{ヴォーカル、フィドル}, Richard Cowell{ギター}のトリオ。w. Nigel Eaton,
Julie Murphy, Ceri Rhys Matthews, Andy Cutting。唄は英語とウェ
ルズ語。99作。Fflach)
- *CERI RHYS MATTHEWS・JONATHAN SHORLAND:Pibau C
(副題“Welsh Bagpipe Music”。CeriはFarnhill。99作。Fflach)
- *SIAN PHILLIPS:Gramundus C
(副題“Traditional Welsh Fiddle Music”。98作。Fflach)
- *OGAM:O Gam I Gam A
(女性2名、男性3名の5人組ウェルシュ・トラッド・グループ。11曲中8曲がトラ
ッド曲。彼等のトラッドへのアプローチの仕方は、クラシック寄り。2000作。Sain)

[CD/CORNWALL]

*NIGEL (An Gwer) ROBERTS & FRIENDS: Just Is A
(Nigel Roberts {通称 An Gwer} は自称「ケルトの吟遊詩人」。彼自身は
ダブリン、ハープ、フイドル、マンドリン、バウロン等を演奏し、飄々とストーリー性
のある唄をうたう。印象はずばり、Robin Williamson&His Merry
Band。初めて聴いたとき、彼の自在錯誤の音楽に「今時、うそでし
よう！」というのが正直な感想。彼の仲間との音楽 [楽器はハーディ
ギター、スモールパイプス、ホイッスル、リコーダー、バンジョー、ベース、ジャンベ、トラン
ペット、クラリネット等+女性ヴォーカル] は、まるで中世の広場でうたい、踊り、
演奏する楽士。70年代に帰った気分。本作は薄型ケースのCDR製で、ジ
ャケットは簡素。裏ジャケットはない。2004年と2006年の録音。An Gwer)

[CD/ENGLAND/SCOTLAND]

*MICK GROVES: Fellow Journeyman B
(副題“The Songs of Ewan MacColl”。20曲中16曲がEwan {Iwan}
MacCollの曲。白髪でウエスタン・フォーク・シンガーの風貌のM. Grovesによる
朗々たるフォーク・ソング。Produced by Phil Beer。2004作。EXEG1)

[LP/SCOTLAND]

*DICK GAUGHAN: Handful Of Earth D
(不朽の名盤。LPにて再発。81/2009作。オランダ 6spices)

[DVD/SCOTLAND] PAL

※パソコン又はPAL方式再生可能DVDプレーヤー/で再生可能

*BARBARA DICKSON: Che Faro D
(1986年のBarbara Dicksonのテレビ番組のDVD。ライブを中心に子
どもの頃から80年代までの音楽人生を語るドキュメンタリー・フィルム。ライブは
“The Caravan Song”, “Boulder To Birmingham”, MacCrimmon’s
Lament” {素晴らしい無伴奏シンキング!}, “Easy Terms”, “Nana”
{スペインの子守唄}, “Che Faro”。この頃、フォーク・シンガーとしてスター街道
まっしぐらだった彼女はクラシックに挑戦。その練習なども。50分。
2012作。BARB1DVD)

*DONNIE MUNRO: Field Of The Young D
(CD“Field of the Young”の映像版に二つのコンサート・ライブ映像が収
録。約2時間。2004作。Hypertension)

[DVD/SCOTLAND] NTSC all regions

※国内製DVDプレーヤーで再生可能

*IVAN DREVER&DUNCAN CHISHOLM: A Long December Night ¥1500
(Duncanの自宅で収録された本作は北スコットランドの12月の長い夜、静
かだが、二人のスピリットに充ちた唄と音楽がとめどなく流れる。スコ
ットランド・ファン宝物。2004作。Highlander Music)

[CD+DVD/SCOTLAND]

※国内製DVDプレーヤーで再生可能

*ALY BAIN: Aly Meets The Cajuns ¥2880
(DVDケース入りDVD+CDセット。1988年、スコットランドのテレビ番組で放送された

Aly Bainがアメリカのケイジャンとザ・デ・イコのミュージシャンと共演したドキュメンタリー・フィルム完全版+CD。CDはリマスターで再発。共演者はDewey Balfa, Boozoo Chavis, Michael Doucet, Marc Savoy, Ann Savoy, Queen Ida, D L Menard, Hary LaFleur, Wayne Toups。DVDは51分、CDは55分。この番組からTransatlantic Sessionsシリーズへと発展する。1988/2012作。Whirlie)

*ALISON KINNAIRD: The Silver String D
(CDとDVDのセット。本作を聴いて驚くのは金属弦とガット弦の小型ハープでスコットランドの古いパイプ・チューンやラメント等を当時のハープの音色を再現するかのよう古風かつ優美かつ気品ある音色を創造していること。もうそれは魂の響きとしか言いようもないハープの音色。ゲスト: Christine Primrose, Ann&Charlie Heymann, Robin Morton。DVDはガラス工芸品の製作フィルムとライブ演奏2曲とインタビュー等。2004作。Temple)

[CD/SCOTLAND]

*CHRISTINE PRIMROSE: Gràdh Is Gonadh - Guth Ag Aithris B
(スコットランドのゲール語の唄「ガーリック・ソング」のヴェテラン・シンガーのChristine Primroseの16年ぶりの新作。デビュー作“Aite Mo Ghaoil”が発売されたのが1982年だから、本作は鮮烈デビューから35周年のアルバム。Christineの本作に立ち向かう姿勢は尋常ではない。まるで大地に立ち、地平線の彼方に向かってシンギングするかのよう毅然としたシンギングの、何と素晴らしいこと！ヴェテラン・トラッド・シンガーとしての気概溢れる渾身のシンギングに身震いしてしまう。唯一無比のガーリック・ソングの美しい唄の花を咲かせている。「a masterpiece... every note and every syllable here is a note of grace」とはスコットランドの詩人で俳優のAonghas Pdraig Caimbeul。2017作。Temple)

*FARA: Cross The Line B
(Faraはオークニー島出身の女性四人組トラッド・バンド。メンバーはTwelfth DayのCatriona Price{フィドル、ヴァイオリン、ヴォーカル}, Jeana Leslie & Siobhan MillerのJeana Leslie{フィドル、ヴァイオリン、ヴォーカル}, Blazin' FiddleのKristan Harvey{フィドル、ヴァイオリン、ヴォーカル}それにピアノ名手のJennifer Austin{ピアノ、ヴォーカル}の四姫。ギャルのセンスがまぶしいキャピキャピの演奏と、これまたギャルのセンスならではの胸キュンな桃色演奏、加えて歌心あるトラッド・シンガーならではの、無垢な乙女のように清楚で心に沁みる美しいシンギング。どれもがまぶしい。三姫がフィドラーなのに、音楽がフレッシュなのは、彼女達の演奏技術の高さと創作力によるものだろう。つい聴き落としがちだが、リズムを担うJenniferのピアノの絶妙かつダイナミックな演奏がフィドル音楽をばっちり下支えしている。そうした演奏と美味シンギングで骨抜きにされた末の締めくくりは、四姫によるアカペラで、アパラチア歌手のOla Belle Reedの自伝的な自作曲“I've Endured”をまるで聖歌のように清くうたい通す。2017作。CPL-Music)

- *TWELEFTH DAY: The Devil Makes Three A
 (シェトランド出身の歌姫でフィドル弾きの Catriona Price と各種ハーブ弾きでシンガーの Esther Swift の女性の二人組のとびっきりの本作。Catriona のフィドルはスコティッシュな、若々しく自在なとびっきりの演奏で魅了する。相方の Esthe のハーブは、Catriona の演奏に感応するようにハーブを爪弾き、音楽を彩り、Catriona の演奏と一緒に舞い踊る。若々しいスコティッシュ・サウンドに彩られた二人のシンギングは、まるで花園の色とりどりな花。2014 作。Orange Feather)
- *MARY ANN KENNEDY: An Dan B
 (スコットランドのヴェテラン・トラッド・シンガーで、その分野で指導的な役割を果たしている Mary Ann Kennedy のソロで、本盤は正式発売前の Special Edition 版。15 曲全曲がスコットランド・ゲール語による自作曲で、伝統歌のスタイルにのっとり曲調とゲール語の響きを活かしきった凜とした美しいシンギングは、男女のヴォーカルの違いはあるが、ゲール語トラッド・スタイルの唄に Runrig のような新たな息吹を注ぎ込んでいて感動的。違うのは Runrig は男性的な高潔さが、Mary は女性的な気品が高まって聞こえること。Finlay Wells の清澄なアコースティック・ギターと自身の美しいピアノの伴奏を中心に必要最小限のスコティッシュなサウンドを施したサウンドも耳に新鮮。彼女の愛や平和についての母性愛的な唄は、凜としてまぶしい。名作。本作は Mary のご主人の Nick Turner 氏より特別に分けてもらった正式発売前のスペシャル・エディション版。2017 作。Watercolour Music)
- *THE CAMPBELL OF GREEPE: No. 2 Greepe B
 (Kenna Campbell, Seamus Campbell, Mary Ann Kennedy, Wilma Kennedy, Maggie Macdonald の五人組の伝統音楽一家 [Kenna と Seamas 夫妻の娘が Mary Ann と Wilma で Wilma の姪が Maggie。Kenna は 1959 年の National Mod の優勝者] によるスコットランド・ゲール語の屈指のシンギング・アルバム。驚くのは Kenna&Seamus 老夫婦のかくしゃくとしたシンギングの見事さ。娘達の清いシンギングとの微妙な声の違いから生み出される彩と綾が何とも力強くも優しく美しい。曲目にはない 14 曲目には Kenna の素朴なシンギングが収められていて、感動。スコティッシュ・トラッドの名盤。2014 作。Watercolour Music)
- *OLD BLIND DOGS: Room With A View B
 (オリジナル・メンバーは Jonny Hardie [フィドル、ヴォーカル] のみとなった Old Blind Dogs の結成 25 周年記念アルバム。現在のメンバーは、J. Hardie に Aaron Jones [ヴォーカル、ブラス、他]、Ali Hutton [バグパイプ、ホイッスル、ヴォーカル]、Donald Hay [パーカッション、ヴォーカル]。Old Blind Dogs という名の力か、一丸となった四太郎の演唱はテンションが高い。ノッケのアイリッシュ "Bunker Hill" では後半で米国民謡の "Sandy Boys" なんかも演っていて、パイプをフィーチャーしたスコティッシュな演奏が滅茶苦茶かっこいいし、フィドルとパイプ&ホイッスルの風のサウンドを全面に出したスコティッシュなサウンドの何と心地よいこと。加えて半数を占める唄ものが滅

茶苦茶泣ける。とりわけ Lionel McLelland 作の二曲での Aaron Jones のたおやかなシンギングが本当に素晴らしい。疑いなく横綱級のスコティッシュだが、清々しくもある。2017 作。OBDmusic)

*VAIR: A Place In Time

B

(Vair はシェトランドの男性五人組トラッド・バンド。シェトランドのバンドらしからぬマンドリン、バンジョー、ギターばかりの楽器編成 [フィドルや笛の類いが無い] による彼らの演奏は、曲目はスコットランド中心にもかかわらず、ゴールウェイ周辺の古っぽいアイリッシュ、それでいて結構かっこいいアイリッシュに聞こえるから面白い。あるスジからの話によると、Mary Shannon はパブで好んでスコティッシュを演奏しているという。理由はスコティッシュはかっこいいからと。そんな感じの音楽を五人で演奏しまくるのだから、凄い！そんな中、Vagaland というシェトランドの詩人の詩を改詩した唄などギターの弾き語り風の唄が三曲収められている。これが結構心に沁みる。2017 作。Vair)

*SPIRITUAL MUSIC FROM THE HEBRIDES

B

(副題 "Live At An Lanntair Isle Of Lewis"。本作は長年、スコットランドのヘブリディーズ諸島の島々でうたわれてきた「シャン・ノース」スタイルの聖歌を選び抜かれた？主に女性トラッド・シンガー達が朗唱したライブ・アルバム。Isobel Ann Martin {二曲}, Jenna Cumming, Chrissie Morrison, Emma Macleod などの各歌姫達のスコットランドのゲール語のシンギングは秀逸で、とりわけ、一曲目 "An Ribhinn Donn" での Duncan Chisholm の神秘的なフィドルの演奏で幕開けし、そのまま泣きのフィドルの伴奏で始まる二曲目の "Gloir An Uan" での Isobel Ann Martin のシンギングは、例えようもなく美しい。女性シンギングの間に男女混成のご詠歌風の合唱を挟む曲の構成で、全体を通して、厳かな空気に包まれている。2017 作。An Lanntair)

*ANGUS SMITH AND NORTH 56: One Day

B

(リード・ヴォーカルの Angus Smith は 1998 年のゲール語文化フェスティバル "Mòd" の金メダリストだそうだが、彼と彼のバンドによる本作を聴いて、ぶっ飛んでしまった。おそらく Runrig に対抗意識を持っているであろう Angus のヴォーカルの熱さと孤高さに惚れ惚れしてしまう。加えて、ストレートなフォーク・ロックは体に美味しい。圧巻は二曲目と最後に収められた曲。二曲目はゲール語の曲 "Tha Mi Seo" で最後の曲は "Tha Mi Seo" を英語でうたったもの。二曲目は子ども達の合唱も加わっていて、スコットランド魂が濃厚。バンドのメンバーは Dave Hobbs, Finlay MacDougal, Iain Coates, Ewan MacDonald。ゲスト: Dougie Pincock。2017 作。Angus Smith Music)

*THE COMPLETE SONGS OF ROBERT TANNAHILL VOLUME IV

C

(ロバート・バーンズの影響を受けたスコットランドの詩人 Robert Tannahill {1774-1810} の詩歌集の Vol. 4。全 20 曲。17 曲目を除き、Claire Hastings, Rod Paterson, Fiona Hunter, Brian O hEadhra, Wendy Weatherby の 5 名のトラッド・シンガーが代わる代わるうたう。簡素な伴奏によるシンギングがスコティッシュ・トラッド

- の素朴な味わいを高めている。2017 作。Brechin All)
- *SONG CIRCLE:The Lullaby Album C
 (Song Circle は Gill Bowman{ヴォーカル、ギター}と Siannie Moodie{クラルサッハ}の女性二人組。トラディショナル 16 曲と Gill の自作 5 曲の計 21 曲の子守歌集。Jenna のゲール語の子守歌も素晴らしかったが、クラルサッハの粒立ちの良いスコットランド風味の音色を活かした優しいサウンドと Gill の優しいシンギングによる Song Circle の子守歌は、ゆりかごで赤ちゃんをそっとあやすような趣で、これまた素晴らしい。何と言うか、ぐずってる赤ちゃんも二人の、心からの優しい子守歌を聞けば、静かに寝入ってしまいそう。2016 作。Brechin All)
- *JENNA CUMMING:Tàladh – Gaelic Lullabies B
 (収録曲 13 曲全曲スコットランドのゲール語の子守歌。そのほとんどは古謡で無伴奏。不思議なことに、Jenna のシンギングは全くと言ってよいほど無伴奏であることを忘れさせる美しさ。その美しさは言葉では表現出来ない母親がわが子を思うような深い美しさ。数曲オルゴールや古いハーブの響きのような伴奏を伴った子守歌が収められていて、すっかり和んでしまう。静かな空気感の中で響きわたるゲール語の唄の響きとともに夢の中。2017 作。Clann Sona[「幸運な子ども達」の意])
- *MANRAN:Mànrán B
 (Mànrán の澆刺デビュー作。2011 作。Mànrán)
- *BATTLEFIELD BAND:The Producer's Choice B
 (Temple レコードの Robin Morton が選んだ Battlefield Band のベスト・セレクション 19 曲。選ばれた曲の演奏者は、Alan Reid, Duncan MacGillivray, Jamie McMenemy, Alistair Russell, Brian McNeill, Dougie Pincock, Sylvia Barnes, Alasdair White, Sean O' Donnell, Iain MacDonald, Ged Foley, Mike Katz, Davy Steele, Pat Kilbride, Ewen Henderson, Jenny Clark, John Gahagan, John McCusker, Karine Polwart。2017 作。Temple)
- *BARBARA DYMOCK:Hilbert's Hotel B
 (2011 年の一枚目。“Billy Taylor”, “The Unquiet Grave”ほか全 15 曲。Barabara Dymock)
- *CALM AND RORY MacDONALD:The Band From Rockall C
 (Runrig の創設メンバーの Calm&Rory 兄弟の本作は、感涙のスコティッシュ・フォーク・ロック。ロックやポップスに熱狂した青春時代に想いを馳せた心からの唄とロックはどこか懐かしくて、あったかい。2012 作。Ridge)
- *DONNIE MUNRO:Sweet Surrender – Live Acoustic D
 (元 Runrig のフロントマンの Donnie Munro のライヴ 二枚組。Donnie は 2014 年に Eric Cloughley{ギター、バックিং・ヴォーカル}, Maggie Adamson{フィドル}とアコースティック・トリオを結成。本作はそのトリオで行ったコンサートのライヴ盤。僕などは Donnie Munro=Runrig のイメージがあるが、本作を聴くと、そのまま Runrig のアコースティック版として、馴染んでしまう。彼の唄はそのまま「スコットランドの声」として優しく、パワフル。アコースティックだが、唄も音楽も熱い。そして感観客も。全 19 トラック。2015 作。

- Hypertension)
- *RUNRIG:The Essential A
(1981年～1996年収録の音源からの16トラック収録の編集CD。偉大なスコットッシュ・ロック・バンドですな。2007作。Capitol)
- *RUNRIG:In Search Of Angels(99作。Columbia) A
- *SHOOGLENIFTY:Radical Mestizo(Shoogle) C
- *SHOOGLENIFTY:Roots(2007作。Shoogle) C
- *ALISTAIR RUSSELL:A19 B
(元Battlefieldのシンガーでギター奏者のAlistairの2002年作。Dave Burland, Karine Polwart, Maartin Allcock, John McCusker, John Martin, Kieran Halpin, Chris Sherburn等の心からのバックアップで、伝統歌を中心にAndy IrvineやArchie Fisher等の曲を滋味豊かにうたう。秋の夜長の良き友。2002作。Glade)
- *ALISTAIR RUSSELL & CHRIS PARKINSON
:A Glass And A Mile B
(元Battlefield Bandのシンガーでギター奏者のA. RussellとアイルランドのMayoをルーツとするアコ奏者のC. Parkinsonによる二枚目。大半はアイリッシュ。Alistairは父親から多くのアイリッシュ・ソングを聞かされたという。Alistairの唄はBattlefield Bandの流れを引く印象だが、その流れの中でも愁いのある曲ばかりをうたっていて、何やら「心の唄」的な内容で、聴いていて、懐かしい気分になってしまう。2013作。Glade)
- *BATTLEFIELD BAND:Happy Daze A
(Karine Polwart, John McCusker, Alan Reid, Mike Katzがメンバーの最強Battlefieldの2001年作。Temple)
- *BATTLEFIELD BAND:Dookin' A
(彼等らしいエキサイティングな演奏とAlanのお涙頂戴のシンキングで泣き笑いさせる。「一曲一曲が琴線に触れる演奏と唄」と簡単には片付けられない感動的な音楽。2007作。Temple)
- *UP IN THE AIR: Moonshine A
(Up In The Airは、Old Blind Dogsの創設メンバーの二人のJonny Hardie{フィドル、ギター、ヴォーカル}とDavy Cattanach{パーカッション、ギター、ヴォーカル}にIron HorseのGavin Marwick{フィドル}のスーパー・トリオによる2012年のアルバム。スコティッシュ臭の強いDaveのシンギングが素晴らしく、全体としてOld Blind Dogs的なスコティッシュをベースに自在な音楽を創作していて素晴らしい。
Up In The Air)
- *CHERRY GROVE: No Time Like Now A
(若き女性四名=Marianne Fraser {ヴォーカル、ギター}, Mhairi Mackinnon {フィドル、ヴォーカル}, Sarah MacNeil {ハープ、ヴォーカル}, Heather Shelley {ピアノ、ヴォーカル} + 男性=Grant McFarlane {アコ、ヴォーカル} 一名のエキサイティングなスコティッシュ・トラッド・バンドの爽快デビュー作。彼女たちは若い女性ならではの可憐かつ萌え立つセンスを活かして、今日的感覚のグルーヴィーなケルティック・ミュージックを軽やかに創作しきっている。加えてMarianne唄はフォーク系シンガーとして最高に魅力的。2014作。Cherrygrove)

- *MAGGIE MacINNES: Spiorad Beatha B
 (自身のハープ又はピアノの弾き語りによるガール・ソングの美しさと気高さは流石。w. Flora MacNeil, Keith Easdale, Graeme Hughes, Marie Felding, Brian McAlpine, Charlie McKerron, etc. ゲール語原詩&英訳付。2001作。Marram)
- *ESME'S ADVENTURE "The Girl With The Purple Harp" C
 (本作は11歳の時に脳腫瘍を患い、2013年に18歳の若さで亡くなった女性ハープ奏者のEsme Morris Macintyreに、スコットランドのハープ奏者達がEsmeのために作曲し、捧げたアルバム。伝統曲は"The Arran Boat"の一曲のみ。演奏家は、Sileasが二曲演奏している以外は、ハープ奏者或いはグループが一曲ずつ演奏。収録曲は全部で14曲。演奏者は異なるが、曲調が主にスコティッシュ風の曲作りなのと、ほとんどの演奏が控えめで、石清水のように澄んだ音色の響きを放っていて、不思議なことにアルバムとしての統一感が感じられる。本CDの売り上げの全額は英国の「Teenage Cancer Trust」というNPOに寄付される。P16のブックレットには元気な頃のEsmeの写真がいっぱい。2015作。Teenage Cancer Trust)
- *CHRIS STOUT & FINLAY MacDONALD: The Cauld Wind C
 (Chris Stoutの相方のCatriona MacKayがOlov Johanssonと組み、一足先に素晴らしい音楽を発表したが、Chrisがハイランド・パイプ奏者のFinlay MacDonaldと組んだ本作は、Catriona&Olovの上昇気流音楽のレベルに劣らぬ唯一無比の素晴らしい音楽。Chris&Finlayは伝統性に重きを置きつつ、産み落とされた音楽は革新的で典雅で高潔。音楽のすべてのレベルが高く、魅力的。こんなわくわくするようなスコティッシュ・ミュージックは聴いたことがないと思ってしまう。パイプとフィドルの組み合わせによる新たな魅力的なスコティッシュ・ミュージックを創作している。心にピンピン響く。スコットランドの人なら、もう感電死。2013作。Chris Stout Music)
- *CRUINN: Cruinn C
 (スコットランドを代表するトラッド・シンガー4名 {Rachel Walker, Fiona Mackenzie, James GrahamそしてBrian O hEadhra} から成るCruinnの一枚目。トラッド・シンギング・アルバムの傑作。2013作。Cruinn)
- *CHRIS SHERBURN & FINDLAY NAPIER
 : Two Men On A Boat C
 (スコットランドのトラッド・グループ"Back Of The Moon"のシンガーでギター奏者のF. Napierと英国のトラッド・グループ"Last Night's Fun"のコンサート奏者のC. Sherburnのデュオ・アルバム。C. Sherburnは伴奏に徹していて、実質的にヴォーカルのFindlayのソロ・アルバム的だが、これが抜群に良い。Dick Gaughanの"Live In Edinburgh", Nic Jonesの"Penguin Eggs"等を二人共通の"Great Album"とし、本作を制作した二人だが、Findlayのスコティッシュなまりのヴォーカルは、柔らかくも毅然とした孤高感があって、心に響く。ブリティッシュ・トラッド/フォーク・アルバムの名盤。2014作。Lister)
- *EWAN McLENNAN: Rags & Robes B
 (E. McLennanの心にしみる名盤。w. Jackie Oates, Peter Tickell。

2010 作。Fellside)

*NUA:Head Full Of Dreams

B

(Cara といとこの Nua といい、ドイツから世界トップ・クラスのケルティック・バンドがデビューした。メンバーは男女各二名の四人組。四名の内三名がドイツ人で一人がスコットランドのオークニー島出身。ヴォーカルはこのオークニー島出身の Catriona Price (Joy Dunlop And Twelfth Day のメンバー) と、もう一人 Michaela Grus の二人の若き歌姫。曲目はアイルッシュとスコティッシュとリジカルとをブレンドにして、この川の快樂さはもう抜群。Catriona はトレード・シンガーとして、今が旬。Liededeller)

*KATIE McNALLY:Flourish

A

(Long Time Courting の女性フィドラー Katie のソロ。米国でスコティッシュ・フィドルを習得し、仕上げでスコットランドに渡って習得した Katie の演奏は米国人だからこそか、スコティッシュ・スタイルのフィドルの魅力を感覚的にかつ実践的に熟知していて、メチャ最高! 2012 作。Katie McNally)

*AALD NOOST

B

(棚で発見した貴重なシトランドの音楽。収録年は 1994 年。本作の発案者はピアノ奏者の Violet Tulloch アコースティック奏者の Iain MacPhail。二人は音楽仲間 (フィドルの Ronnie Jamieson、アコースティックの Brian Morrison、ベースの Cecil Hughson、Douglas Johnstone) を誘って、シトランドの伝統音楽のスタイルに則った音楽を自分たちのアレンジで演奏したのが本作。ケリー・バンド・スタイルのシトランド音楽は、シトランドでは当時としてはニュー・ウェイヴだったのだろう。ダンスの風景が目に浮かぶダンス曲の数々。短い曲解説に一曲一曲への思い入れが端的に綴られていて、演奏者の「曲の好きさ」がよくわかる。録音はオークニー諸島。在庫数枚。Attic)

*LUKE DANIELS GLASGOW CITY CELTIC COLLECTIVE

:Mother Glasgow

C

(Luke Daniel の祖母はスコットランドのインフューの出身。その縁で実現したプロジェクト。本作はグラスゴーで活動する生え抜きのミュージシャン総勢 24 名 (Luke Daniel を含む) による汎ケルティック・ミュージックというかケルティック・ミュージック歴史絵巻。その絵巻はスコットランド音楽と親戚関係のある米国のブルーグラスにまで及ぶ。総勢 24 名だが、一曲一曲は通常のバンド・スタイルで、このメツ (Paul McKenna: 11 曲目 "Jamie Raeburn's Farewell" は感涙なしには聴けない), Kris Drever, Jarlath Henderson, Ross Ainslie, Matheu Watson, Simon Thoumire, Patsy Reid 他) なら、曲の完成度の高さは言わずもがな。Luke の頭の中は、先祖への想い。2013 作。Wren)

*FIONA DAVIDSON:The Language Of Birds

C

(1998 年リリースのケルティック・ハープの弾き語り。9 曲中 6 曲が Storytelling、つまり「語り」で、3 曲が唄。Fiona はハープを爪弾き、語りと唄で、古代吟遊詩人の神秘的な語り部の世界、ケルトの伝説の世界へと誘う。1998 作。Watercolour)

*ALY BAIN, ALE MOLLER, BRUCE MOLSKY:Meeting Point

C

("Live At The Liverpool Philharmonic"。Aly Bain と Ale Moller にオールド・タイム・フィドラーでシンガーの Bruce Molsky が加わったトリオでのう

イグ。Aly Bain のフィドルをフィーチャーしたシエラントの曲では Ale がマントラが気品のある彩りを添え、Bruce のヴォーカルとフィドルをフィーチャーした米国のトラッドでは Ale がマントラが気品のある彩りを添え、二人の民俗色豊かな音楽をシェイプアップし、Ale のマントラをフィーチャーした北欧の曲では二人のヴァイオリン・フィドラーは北欧スタイルのフィドルで遊び、その遊びの後には本来の自身のスタイルのフィドルで遊んだり、シエラントとスウェーデンと米国のトラッドの演奏名人の三人による最高に美味しいミックス・ジュース音楽。2013 作。Whirlie)

- *ALY BAIN & ALE MOLLER: Beyond The Stacks C
(シエラントのフィドル曲を中心に数曲のスウェーデンの曲を加え、A. Bain と A. Moller がそれぞれの国の音楽性を共有し、共演したもの。2007 作。Whirlie)
- *DUNCAN CHISHOLM: Live At Celtic Connections C
(2013 年の Celtic Connections のライヴ。会場は Kelvingrove Art Gallery。今日、スコットランドの泣きのフィドルでは彼の右に出る者はいない。ソで、デュオで、グループで、会場のアート・ギャラリーの展示物に負けないスコティッシュ・ムードの音の絵を描く。スコティッシュ・トラッドのワビ・サビのフレーズがふんだんに盛り込まれた極上の演奏は、すっかり極楽気分。一緒に音の絵を描く共演者は、Jarlath Henderson {イリッシュ・バウロン}, Allan Henderson {フィドル、ピアノ} Matheu Watson {ギター}, Martin O' Neill {バウロン}, Ross Hamilton {ベース}。Copperfish)
- *KRIS DREVER: Black Water And Live C
(K. Drever の 2006 年のデビュー作 {全曲ミックスをやり直している} とグラスゴーの Old Fruitmarket での 2008 年のライヴ {12 曲収録} の 2 枚組 CD。ライヴは、Karen Matheson, Heidi Talbot, John McCusker, Ian Carr, Ewan Vernal, Andy Seward, Donald Shaw, Andy Cutting, Donald Hay, Roddy Woomble と豪華な顔ぶれ。もちろん新しいパッケージとブックレット。2007/2012 作。Reveal)
- *THE PAUL McKENNA BAND: Between Two Worlds A
(この若手バンドは最高。リーダーでヴォーカルの P. McKenna のヴォーカルが絶品で、心に沁みるし、加えて、P. McKenna のギター、David McNee のブラスキー、Sean Gray のフルート&ホイッスル、Ewan Baird のバウロンそして屈指の若手フィドル奏者の Ruairidh Macmillan のフィドルによるセッションする演奏のワカク度はもの凄い。2009 作。Greentrax)
- *DUNCAN WOOD & GUESTS: Swarbricks B
(本作のアイデアは Cathal McConnell と Duncan Wood が Swarb と Edinburgh Folk Club で共演したことに始まる。全曲 Swarb 作曲の曲で全 17 トラック収録。マントリン、マントーラ、フィドル、ヴァイオリン、バウロン等を演奏する Duncan は、Swarb の曲は完成されていて、簡単には編曲不可能と判断し、じゃあセッションで作ろう！ということになって、Cathal McConnell {フルート、ホイッスル}、Martin McDonald {ギター、ホーンズ}、Gavin Sutherland {ギター}、Maureen Hunter {ハープ} の仲間とフォーク・クラブでセッションするように作ってしまったのが本作。これが功を奏して、まるで Boys Of The Lough のようなスコティッシュ・トラッドっぽい音楽に自然変化。ギター系楽器が多い分、音楽の粒立ちが良く、軽やかで優雅に響いている。聴いてすぐに Swarb の曲とわかる人はよほどの

- Swarbrニア!? 2013 作。Beaechwood)
- *ALASDAIR ROBERTS & FRIENDS:A Wonder Working Stone B
(Dougie MacLeanと活動を共にしていた Andy Roberts の息子、Alasdair の本作は、70 年代ブリティッシュ・フォークの香りがブンブン。不思議な懐かしい感じの音楽。2013 作。Drag City)
- *ALASDAIR MacIILeBHAIN:Las B
(別名 Alasdair Whyte。スコットランドのガール・ソングのコンテスト優勝者 Alasdair のデビュー作は、野郎ながら何とも美しいガール・ソング・アルバム。Alasdair のオリジナル曲が半数の本作だが、唄のストーリーは伝統歌集的。柔和なシンギングの感じが、僕の大好きな Arthur Cormack に似ていて、病みつき。2012 作。Watercolour)
- *PAULINE VALLANCE:Golden Slumbers C
(スコットランドのクラシックハープの弾き語りによるスコットランドの伝統歌を中心にした子守歌アルバム。ライナー・ノーツに書かれているように、赤ちゃんや子どもを寝かせる音楽であると同時にスコットランドの伝統的子守歌を旅する音楽にもなっている。Pauline のクラシックハープの弾き語りは優しく心地よい。ハープの演奏はアルバム・ジャズ中心のシンプルで美しい演奏なので、ハープ奏者の練習曲にもなりそう。“Golden Slumber”に始まり、“Dream Angus” [Pauline の母親がよくうたっていたという] で終わる全 12 曲。2012 作。Enterprise Music Scotland)
- *MACMASTER・HAY:Hook B
(Sileas の Mary Macmaster と打楽器奏者の Donald Hay の 2 枚目。ハープの音楽、スコティッシュ・ミュージックの最前線の音楽。驚くのは Mary のシンギングの素晴らしさ。特にタイトル曲“Hook” [Waulking Song] でのシンギングの魔性的ムードはドキドキとってしまう。2012 作。MDMC)
- *KARINE POLWART:This Earthly Spell A
(2008 作。Hegri Music)
- *LIONEL McCLELLAND:To Wyle Us Hame B
(2010 年 9 月、心不全で亡くなったスコットランドを代表するフォーク・シンガーの L. McClelland の亡くなる前に収録を終えていた。スコットランド語のシンガーであり、ストーリーテラーであり俳優だった Lionel は、“The Complete Songs Of Robert Burns”のシリーズの制作に情熱を傾けたことでも知られる。本作に収められた Lionel の唄は温もりの感じられる穏やかな自作作曲中心の唄。w. Pete Clark, Marc Duff, Aaron Jones, Paul McKenna, Rod Paterson, etc. スコットランド音楽の重要作。2012 作。Actually Productions)
- *KRIS DREVER, EAMONN COYNE AND MEGAN HENDERSON
:Kris Drever, Eamonn Coyne And Megan Henderson ¥1280
(Lau のメンバーでフォーク・シンガーの Kris Drever と仲間によるリラックス・ムードの中にもピリっと力のある Kris の唄 3 曲とバンジョー、ギター、フィドルによるセッション 2 曲。Kris がうたう“Parcel Of Rogues” [Trad], “Wild Hurricane” [Sandy Wright] / “Lament For Glencoe” [Trad], “Shady Grove” [Trad] の 3 トラックは、もう抜群。2012 作。Reveal)
- *SIMON CHADWICK:Old Gaelic Laments C
(本作は 15 世紀の金属弦ハープ [クラシックハープ] クイーン・マリー・ハープの復元ハープによる 16~18 世紀の哀悼歌集。Simon の演奏は普段聴くスコットランドのハ

ーブともアイルランドのハーブとも趣を異にしている。Simonの演奏はいにしへの宗教的な音楽の世界に身を委ね、その陶酔の中で、最上の美しい音色を爪弾いているのよう。色彩感のあるリズムの連なりが不思議なメロディーを創り出している。2012作。Early Gaelic Harp)

*SKETCH:Shed Life B

(一瞬 Martin Bennet!?とってしまう冒険心旺盛なスコティッシュ・ミュージック。しかし音楽のコンセプトはハイランド地方の農閑期のダンス音楽。バンド・メンバーはスコティッシュ・シガーの Maeve Mackinnon にフィドルの Neil Ewart, パイプ、ホイッスルの Steven Blake, ギターの Chris Waite, ハーカッション、ブローミングの Iain Copeland。スリリングなスコティッシュ・ダンス&ディスコ・サウンドの嵐の中 Maeve は神がかってスコティッシュ・ゲール語でシンキングする。免疫力のないスコティッシュ・トラッド・ファンには危険な音楽。でも力は最高!ゲスト: Ross Ainslie, John Spiers。2012作。Skye)

*PATSY REID:Bringing The Gap A

(スコティッシュ・フィドル奏者 P. Reid の 2008 年作。w. Mhairi Hall, Aidan O'Rourke, Anna Wendy Stevenson, etc. Vertical)

*JENNA REID:Morning Moon B

(過去、シエラランドの Filska、スカイ島の Dochas そして Deaf Shepherd のフィドラーとして活動したシエラランド・フィドラーの Jenna の本作は、シエラランド・フィドルから広くスコットランド・フィドルそして海を渡ってケープ・ブレットン・フィドルとフィドル・ミュージックの幅を広げてきた Jenna の音楽を盛り込んだ作品。w. Kevin Mackenzie, Bethany Reid, Kathleen Boyle, Olov Johansson, etc. 2012 作。Lofoten)

*JENNA AND BETHANY REID:Escape B

(第二次世界大戦下に北海で起こったある楽器制作者の逃避劇の物語の一場面一場面をシエラランドの若手随一のフィドラーの Jenna Reid と妹の Bethany [フィドル&ピアノ] が作曲し、二人で演奏した音楽。音楽はいわばシエラランドの伝統音楽を中心に据えた創作音楽で、緩急自在でイメージ豊富な音楽を含め Gattiona McKay&Chris Stout の高潔な音楽世界に通じるし、肩を並べている。2010 作。Lofoten)

*THE SCOVILLE UNITS:The Scoville Units a

(注目すべきスーパー・ケルティック・ブルーグラス・バンド。メンバーは Flook の Ed Boyd に Show Of Hands の Miranda Sykes, Daily Planet の Leon Hunt, Josh Clark, Rex Preston そして紅一点の Gina Griffin。面白いのは Leon Hunt のセックス抜群の即興的なパッセージ。これと精鋭ケルティック・サウンドとのミックスがめちゃ新鮮。好きにセッションする中で、伝統歌やダンス曲を魔法のようにとびつきりフレッシュで、オリジナルなアコースティック・ミュージックへと変幻させる。心ゆく気分爽快! 加えて、3 曲で愛らしいヴォーカルを披露する Gina の唄も素敵。2010 作。Get Real)

*RURA:Break It Up a

(スコットランドから飛び出した 2011 年の“The MG Alba Scots Trad Music Awards”授賞の若きトラッド野郎達のどでかいデビュー作だ。彼らはデビュー作にして、グエテラン・スコティッシュ・バンドの風格。堂々として、気高く優艶な演唱を長々と聴かせたかと思えば、終盤、バグパイプ、ギター、フィドル、フルート、ハウン等がエレクトリック・ミュージックへと変幻させる。心ゆく気分爽快! 加えて、3 曲で愛らしいヴォーカルを披露する Gina の唄も素敵。2010 作。Get Real)

(スコットランドから飛び出した 2011 年の“The MG Alba Scots Trad Music Awards”授賞の若きトラッド野郎達のどでかいデビュー作だ。彼らはデビュー作にして、グエテラン・スコティッシュ・バンドの風格。堂々として、気高く優艶な演唱を長々と聴かせたかと思えば、終盤、バグパイプ、ギター、フィドル、フルート、ハウン等がエレクトリック・ミュージックへと変幻させる。心ゆく気分爽快! 加えて、3 曲で愛らしいヴォーカルを披露する Gina の唄も素敵。2010 作。Get Real)

(スコットランドから飛び出した 2011 年の“The MG Alba Scots Trad Music Awards”授賞の若きトラッド野郎達のどでかいデビュー作だ。彼らはデビュー作にして、グエテラン・スコティッシュ・バンドの風格。堂々として、気高く優艶な演唱を長々と聴かせたかと思えば、終盤、バグパイプ、ギター、フィドル、フルート、ハウン等がエレクトリック・ミュージックへと変幻させる。心ゆく気分爽快! 加えて、3 曲で愛らしいヴォーカルを披露する Gina の唄も素敵。2010 作。Get Real)

(スコットランドから飛び出した 2011 年の“The MG Alba Scots Trad Music Awards”授賞の若きトラッド野郎達のどでかいデビュー作だ。彼らはデビュー作にして、グエテラン・スコティッシュ・バンドの風格。堂々として、気高く優艶な演唱を長々と聴かせたかと思えば、終盤、バグパイプ、ギター、フィドル、フルート、ハウン等がエレクトリック・ミュージックへと変幻させる。心ゆく気分爽快! 加えて、3 曲で愛らしいヴォーカルを披露する Gina の唄も素敵。2010 作。Get Real)

(スコットランドから飛び出した 2011 年の“The MG Alba Scots Trad Music Awards”授賞の若きトラッド野郎達のどでかいデビュー作だ。彼らはデビュー作にして、グエテラン・スコティッシュ・バンドの風格。堂々として、気高く優艶な演唱を長々と聴かせたかと思えば、終盤、バグパイプ、ギター、フィドル、フルート、ハウン等がエレクトリック・ミュージックへと変幻させる。心ゆく気分爽快! 加えて、3 曲で愛らしいヴォーカルを披露する Gina の唄も素敵。2010 作。Get Real)

(スコットランドから飛び出した 2011 年の“The MG Alba Scots Trad Music Awards”授賞の若きトラッド野郎達のどでかいデビュー作だ。彼らはデビュー作にして、グエテラン・スコティッシュ・バンドの風格。堂々として、気高く優艶な演唱を長々と聴かせたかと思えば、終盤、バグパイプ、ギター、フィドル、フルート、ハウン等がエレクトリック・ミュージックへと変幻させる。心ゆく気分爽快! 加えて、3 曲で愛らしいヴォーカルを披露する Gina の唄も素敵。2010 作。Get Real)

(スコットランドから飛び出した 2011 年の“The MG Alba Scots Trad Music Awards”授賞の若きトラッド野郎達のどでかいデビュー作だ。彼らはデビュー作にして、グエテラン・スコティッシュ・バンドの風格。堂々として、気高く優艶な演唱を長々と聴かせたかと思えば、終盤、バグパイプ、ギター、フィドル、フルート、ハウン等がエレクトリック・ミュージックへと変幻させる。心ゆく気分爽快! 加えて、3 曲で愛らしいヴォーカルを披露する Gina の唄も素敵。2010 作。Get Real)

- *ALISTAIR OGILVY:Leaves Sae Green A
 (若き男性トラッド・シンガーのデビュー作。Alistair のシンギングは、Dick Gaughan のシンギングを正調スコティッシュ・トラッド節と位置づければ、正調。スコットランドの伝統歌を中心に Andy M. Stewart や Davy Steele 等の曲を伸び伸びとシンギングする。その健やかな唄が気持ち良い。w. Steven Polwart, Aly Macrae, Inge Thompson. Produced by Mattie Foulds. 2012 作。Greentrax)
- *BRUCE MacGREGOR AND CHRISTINE HANSON B
 :Kissin' Is The Best Of A'
 (Brazin' Fiddles のフィドル奏者の B. MacGregor と大西洋を挟んで活動するルネ音楽対応チェロ奏者の C. Hanson とのコラボ。Bruce のハイランド色濃厚な多彩なフィドルに Christine のチェロが深い情感を加える。演奏者の心はスコットランドで何百年も伝承されてきた音楽への深い愛情に満ちている。Tim Edey, Brian McAlpine. 2011 作。Brechin All)
- *JOANNE McIVER & CHRISTOPHE SAUNIERE:The Cannie Hour A
 (スコットランドのガール・シンガーの J. McIver とブルターニュのケルティック・ハーブ奏者の C. Saunier のデュオアルバム。全曲、ヴォーカルの Joanne の自作曲なのだが、伝説や妖精物語やお化けの話などにインスピレーションを得たトラッド風のスコットランドのゲール語と英語混在の唄で、トラッド・シンガーとして、また魅惑の不可思議 SSW としての、両方の魅力を持ち合わせている。2011 作。Buda)
- *COAST:The Turning Stone B
 (これは Wolfstone クラスのフォーク・ロック・バンド。いや Wolfstone より底力がある。むしろ Runrig に近いかも。ヴォーカルの Paul Eastham はスコティッシュ・フォーク・ロック・バンドのヴォーカルとして凄く魅力的。音ゲスト:Duncan Chisholm. 2011 作。Ruabhal)
- *JIM MALCOLM:Acquaintance C
 (Robert Burns 集。2007 作。Beltane)
- *EAMON DOORLEY, MUIREANN NIC AMHLAOIDH, JULIE FOWLIS, ROSS MARTIN:Dual A
 (Dochas のシンガーで屈指のガール・シンガーの Julie Fowlis と Danu のシンガーで屈指のガール・シンガーの Muireann の、スコットランドとアイルランドの二人の歌姫の競演アルバム。2008 作。Machair)
- *BRIAN O hEADHRA:An t-Ailt B
 (アイルランド・ダブリン出身で元 Anam の Brian のソロ。タイトルは「流れ」の意。現在はスコットランドのインヴァネス在住で、奥様は Mackenzie 三姉妹の Fiona。スコットランド・ゲール語とアイルランド・ゲール語の唄が 9 曲で英語の唄が 3 曲。深い森のふかふかした落ち葉のような唄だ。w. Fiona Mackenzie, Sandy Brechin, Chris Agnew, Richard Werner, Louisa Rafferty, Pat McGarvey. 2011 作。Brechin All)
- *MATHEU WATSON:Matheu Watson C
 (録音時 20 歳の天才的フィドル&ギター系楽器奏者の鮮烈なデビュー作。Matheu は 2009 年に“Best Up And Coming Musician”賞に、2010 年に彼が在籍する Fred Morrison Trio が“Best Folk Band”賞にノミネート。2010 作。SEE001)
- *URACHADH B

(北西ハイランドの人々の物語や歴史や音楽をテーマにした音楽。James Graham {ウォーカル}, Catriona MacLeod {ウォーカル、アコ、ホイッスル}, James Ross {ピアノ}, Carol-Anne Mackay {各種バグパイプ、ホイッスル、アコ、ウォーカル}, Rhona Sutherland {フィドル、ギター、ブラスキー}の編成で、James と Catriona と Carol のガールック・ソングを中心にグループとしてゆるやかな連帯感を保ち、伝統歌と伝統音楽のバランスが取れ、ハイランドのトラッド音楽として味わいが深い。2010 作。Urachadh)

*ALEX HODGSON: Jeelie Jars 'n' Coalie Backies B

(A. Hodgson は大衆の人気のSSWで、伝統歌もうたうスコティッシュ・フォーク・ソング。その音楽は純粋にスコットランドのトラッドを志向するものではなく、大衆性のあるコンテンポラリー・フォーク。w. Kenny Hutchison, David Paton, James Mackintosh, Calais Brown, Kevin McGuire, etc. 2010 作。Greentrax)

*GABE McVARISH: Eclection B

(現在 Daimh のメンバーで、数々の著名バンドのレコーディングに参加し、現在フィドルの教師としても多忙なフィドラー、Gabe のソロ。スコットランドの曲を中心にアイルッシュやケープ・ブレトンの曲を古いスタイル、新しいスタイル、先鋭的なスタイル等を使い分け、緩急自在に演奏してしまう小器用さは天才的。2010 作。Greentrax)

*OLD BLIND DOGS: Close to The Bone (93 作。Lochshore) a

*IVAN DREVER: Notes From An Island C

(Lau の Kris Drever のお父さんで元 Wolfstone のウォーカルの Ivan の本作は、彼自身の歴史を振り返る回顧的内容で、オーケニーへの思いや家族への思いが綴られた唄達が穏やかな風のように流れる。Ivan の歌唱は滋味豊かで、どの唄も優しさが深い。ブックレットにはセピア色化したつつある家族写真が十数枚掲載されている。2010 作。Attic)

*CALUM MARTIN: An Dealachadh C

(Lewis 島のスコットランドのゲール語ソングの C. Martin の本作は Runrig を想起させるスコットランドの薫り立つ潔いフォーク・ロック。これが実にかっこいいのだ。かっこいいだけではない。Isobel Ann Martin と Catherine Joan Martin の女性ソングの唄がフィーチャーされた唄など女性ガールック・ソング特有の哀愁漂う優美な美しさを湛えていて、すっかり夢見気分。2010 作。Ridge)

*DAIMH: Moidart To Mabou B

(2000 年作の 1 枚目。ハイランド音楽をアイルッシュっぽく、例えばパブ・セッションのようなリとあうんの息で演奏したようなスムーズな演奏がすこぶる気持ちいい。ガールック・ソング-Anne Martin も素晴らしい。Produced by Ian MacDonald. 2000 作。Goat Island Music)

*DAIMH: Crossing Point B

(若手屈指のガールック・ソングの Calum Alex MacMillan を迎え、ハイランドの味わいが一味加わってハイランド色濃厚かつアイルッシュやケープ・ブレトンも取り込んだエネルギッシュな音楽は完全無欠。2007 作。Greentrax)

*CALUM ALEX MacMILLAN: Taladh Nan Cuantan B

(現 Daimh のソング-Calum の 2005 年のソロ。w. Ross Martin, Seonaidh MacMillan, Allan Henderson, Ingrid Henderson, Angus MacPhail, Ally MacKenzie. Skipinnish)

- *SIMON BRADLEY・LUKE PLUMP: Wintering Out C
 (アイルランド系イリス人アイルッシュ・フィドラーの S. Bradley とアスマニア島出身で Shooglenifty と Fine Friday のブズキ奏者の L. Plump のアイルッシュをメインにしたアイルランド～スコットランド～アストuriasを繋ぐ心と魂が響き合う素晴らしい音楽。2004 作。Shooglenifty)
- *SKIPINNISH CEILIDH HOUSE "The Scottish Music Show" C
 (スコットランドのバーンのケリー・ハウスでのライブ。Rachel Walker [2 曲], Mary Catherine MacNeill ["Fear a' Bhata" 他全 4 曲], Angus MacColl, Archie MacAllister, Scot Wilson, Skipinnish, Sconaidh MacIntyre, Eilean Scalpaigh na Hearadh による全 13 トラック。2009 作。Skipinnish)
- *CHRISTINE PRIMROSE ・ BRIAN O HEADHRA: An Turas B
 (名実共に最高のガール・リク・ソングの C. Primrose とダブリン出身でアイルランドのゲール語を学んだ Anam のソング-&ギター奏者の Brian とのスコットランドのガール・リク・ソングとアイルランドのゲール・ソングの謙虚でスピリットの高いトラック・アルバム。歌詞原詩&歌詞英訳付。2003 作。Anam Music)
- *KEN CAMPBELL'S IDEAL BAND: Ken Campbell's Ideal Band B
 (1980 年代に活躍したフォーク・ロック・バンドの Ideal Band の再結成アルバム。メンバーは Ken Campbell {ヴォーカル、12 弦ギター、リュート、ノサンブリアン・パイプス}, Seylan Baxter {チェロ、ヴォーカル}, Gavin Paterson {キーボード、ギター、ヴォーカル} の女性一名男性二名の計三名。ゲスト: Steve Lawrence, Wendy Weatherby, Hamish Moore。2009 作。Fellside)
- *BRIAN McNEILL: The Baltic Tae Byzantium B
 (副題 "Tales Of The Scots In Europe"。ご存知 Battlefield Band の創設メンバーで、マルチ演奏家で、現在 RSAMD の "Scottish Music" 部の学部長で、多くの若き音楽家を育てている B. McNeill のソロ。w. Dick Gaughan {ヴォーカル、ギター}, Patsy Seddon {ヴォーカル}, Sylvia Barnes {ヴォーカル}, Dominique Dodge {ハーフ}, Lorne MacDougall {アイルランド・パイプス}, etc. 2009 作。Greentrax)
- *LAUREN MacCOLL: Strewn With Ribbons B
 (2004/5 年の "BBC Radio2 Young Folk" 賞受賞の Lauren の 2 枚目。滅茶苦茶素晴らしいスコティッシュ・フィドル・アルバム。選曲は 1800 年前後の楽譜に収録されたアイルランド地方の伝統曲と伝統曲からインスパイアされて自身が作曲した曲だが、前作同様 Lauren のアイルランドの薫り発つ演奏の素晴らしさは巍然としていて、神がかり的。疑いなくスコティッシュ・フィドル・アルバムの最高傑作。2009 作。Make Believe)
- *CEOLBEG: Cairn Water B
 (Wendy Stewart, Rod Paterson, Gary West, Peter Boond, Colin Paterson, Mike Travis から成るスーパー・スコティッシュ・グループの 99 年作。Wendy のエレクトリック・ハーフの導入他実験的要素もある当時最前線のスコティッシュ・トラッド。今聴いても圧巻。Greentrax)
- *RACHEL HAIR: The Lucky Smile C
 (アイルランド系スコットランド人ハーフ奏者の R. Hair の 2 枚目は時折ギター、ベース、ドラムス、パーカッションが入る Catriona McKay 路線を目指す意欲作。Joy Dunlop なる女性ソングがうたう 2 曲のガール・リク・ソングも聴き逃さない。むしろ二人、ヴォーカル&ハーフのデュオで活動して欲しいと思うほどだ。

- 2009 作。March Hair)
- *HAREM SCAREM: Storm In A Teacup C
(Nuala Kennedy が抜け、Eilidh Shaw, Ross Martin, Sarah McFadyen, Inge Thompson のスコットランドの名うてのトラッド・ミュージシャン4 名による Harem Scarem の 2008 年作。Vertical)
- *HAREM SCAREM: Let Them Eat Fishcake C
(Eilidh Shaw, Ross Martin, Sarah McFadyen, Inge Thompson, Nuala Kennedy の女性 4 名と男性 1 名から成る新進気鋭のスコティッシュ・バンドの 2002 作。ゲスト: Kris Drever。Vertical)
- *FACE THE WEST: The Wishing Stone B
(Wolfstone タイプの Lewis 島の 4 人組スコティッシュ・フォーク・ロック・バンドの 2 枚目のよう。Keith Morrison の健やかなヴァーガルと彼らのスコティッシュ・トラッドの匂いを撒き散らす若々しいフォーク・ロックは気分爽快。めちゃ Good! 2008 作。West Studio)
- *THE MARTIN GREEN MACHINE "First Sighting" B
(Lau のアコ奏者 Martin Green のやりたい放題の実験音楽。ポータリスな彼の音楽性からある程度想像していたが、やはりジャンル分け困難な実験的でユーモラスでお遊び感覚のクロスオーバー音楽。色彩感豊かで、遊園地音楽とでも言いたい音楽。彼はほつま遊び好きやな。子どものままの感性の音楽家。w. Inge Thomson, Barnaby Stradling, Tom Cook, etc. 2009 作。Navigator)
- *MALINKY: Flower & Iron B
(Malinky 4 枚目は、ヴァーガル&チェロの Fiona Hunter, ヴァーガル、ブズーキ他の Steve Byrne, ヴァーガル&ホイッスル他の Mark Dunlop, フィドルの Mike Vaas そしてギター - Dave Wood の強力ラインナップによる三人のシンガー - シンギングが光り、とびっきりのスコティッシュ・サウンドが飛び交う唄、音楽ともに、最高レベルでバランスの取れた傑作だ。2008 作。Greentrax)
- *MALINKY: Last Leave B
(Karine Polwart がヴァーガル。2000 作。Greentrax)
- *MALINKY: Ravens (Karine Polwart がヴァーガル。2002 作。Greentrax) B
- *MARK DUNLOP: Islands On The Moon B
(アイルランドの Antrim 生まれでスコティッシュ・トラッド・バンドの Malinky のシンガー - 兼ホイッスル&バウロン奏者の M. Dunlop の初ソロ。2008 作。Greentrax)
- *KRIS DREVER ・ JOHN McCUSKER ・ RODDY WOOMBLE
: Before The Ruin B
(スコットランドのトラッド・シーン最先端を走る K. Drever と J. McCusker に SSW の R. Wooble のトリオによるびしっとかっこいいフォーク・ロック。w. Heidi Talbot, Norman Blake, Michael McGoldrick, Andy Cutting, Phil Cunningham, Ian Carr, Donal Show, etc. SSWファンも是非。2008 作。Navigator)
- *DONNIE MUNRO: An Turas B
(スコットランド人のアメリカ移民の唄。ガールリック・ソングを含む Donnie の入魂のフォーク・ロック。Runrig ファン必聴。2008 作。Greentrax)
- *DONNIE MUNRO: Field Of The Young B
(元 Run Rig のヴァーガルの Donnie の 2003 年のライヴ。David Paton, Chaz Stewart, Dave Stewart 他のバンド編成でまるでもう一つの Run Rig

的スコティッシュ・フォーク・ロックでぐいぐい迫る。全 16 曲。スカイ島の宝。2004 作。
トイ(Hypertension)

- *DONNIE MUNRO:Donnie Munro A
(スカイ島でのライヴ。Donnie の力強く美味しい唄が詰まった最高の 1
枚。SSWファンも是非！至福保証。2000 作。Vital Spark)
- *A CELEBRATION OF THE MUSIC OF GORDON DUNCAN B
(2005 年 12 月に急逝したハイランド・パイパーの Gordon Duncan の名を冠し
た基金 [パイプ音楽と若手伝統音楽家支援が目的] 立ち上げコンサートの
ライヴ CD。出演者は Dougie MacLean, Kris Drever with Eamonn Coyne
and Tim Edey, Duncan Chisholm, Maggie MacInnes, Session A9,
Jock Duncan, Allan MacDonald Eamonn Coyne and Kris Drever,
Ross Ainslie and Ali Hutton, Atholl Highlander's Pipe Band,
Jarlath Henderson and Eamonn Coyne and more。CD の売上は基金
に。2008 作。Greentrax)
- *EAMONN COYNE&KRIS DREVER:Honk Toot Suite a
(ダブリン出身のダンシング・バンドメンバー Eamonn と Lau のメンバーで
セッション・ギターの達人 Kris によるバンドとギターの掛け合いをベースに
したハイレベルなコラボレーション。バンド音楽の多彩さとマジカな響きが自
由な空気感の中で存分に発揮されている。2006 作。Compass)
- *SIMON THOUMIRE・DAVID MILLIGAN:The Big Day In A
(コンサート・天才 S. Thumire とジャズ・ピアニストの D. Milligan との即興
性あるスコティッシュ・ミュージック。スコティッシュ・トラッドの土俵の中で、新種の美し
い花を咲かせている。2001 作。Foot Stmpin')
- *ROBIN WILLIAMSON:The Celtic Bard C
(彼独特なハーブの弾き語りによる全 18 曲は、ハーブの魔法的響きが最
大限に生かされていて、他のハーブ奏者とは一線を隠した魔法的美
意識で貫かれている。2008 作。スウェーデンGason)
- *PEATBOG FAERIES:What Men Deserve To Lose C
(Shooglenifty と肩を並べるスコティッシュ・トラッド界の豪放な異端児バンド
の Peatbog の 2007 年作。パイプやフイドルやホイッスルはスコティッシュのメロディーを
高らかにうたい、エルク軍団は熱風で煽る。前人未踏のスコティッシュ・ロックを
体現。横綱級。2007 作。Peatbog)
- *MAIRI SINE CHAIMBEUL:Tha'll An Loch Aillse A
(女性スコットランドのゲール語シンガーによる名作。w. Mary Ann
Kennedy, Seoras Campbell, Findlay Napier, Hamish Napier, Ali
Hutton, James Graham, Gillebride MacMillan。2007 作。Macmeanmna)
- *DAVY STEELE:Chasing Shadows B
(元 Battlefield の D. Steele の 97 年作。w. Sileas, Dick Gaughan,
Alan Henderson, Brian McAlpine, etc. Hypertension)
- *ALASDAIR WHITE:An Clar Geal C
(空前絶後最高レベルのケルティック・フイドル・アルバム。踊るフイドラーとも呼びた
いほど様々なタイプの民俗性ある音楽を個々のリズムを楽しむように
心と体で演奏する。w. Aaron Jones, Mike Katz, Ewen McPherson,
Alison Kinnaird, etc. 2006 作。Temple)
- *ROSS KENNEDY:Scottish Voice & Acoustic Guitar B
(元 Tannahill Weavers で Iron Horse の創設メンバーで屈指のスコティッシュ・

ギター奏者でトラッド・シンガーの R. Kennedy の本作はスコティッシュの高貴さと
芳香に充ちた渾身の力。2007 作。Greentrax)

- *ALEX CAMPBELL, ALAN ROBERTS, DOUGIE MacLEAN:CRM B
(Dougie MacLean ファンの宝物。1979 年作。Osmosys)
- *ORKNEY FOLK "Traditional Music From The Islands" C
(Orkney Folk Festival 25 周年記念に制作された記念盤。全 19 ミュージ
シャン/グループによる全 19 曲。Wrigley Sisters, Rory McLeod&Aimee
Leonard, Ivan Drever, etc. 2007 作。Orkney Folk Festival)
- *THE ORKNEY SESSIONS FROM THE AYRE HOTEL A
(全 17 トラック。95 作。Attic)
- *HARP HOUSE B
(Edinburgh Harp Festival からのライヴ。スコットランドのハープ奏者中心の
名演奏集。収録順に Park Stickney&Rudiger Oppermann, Kike
Pederson, Crasdant, Karen Marshalsay, Nuria Llopis Areny,
Isobel Mieras, Graíne Hambly, Ann&Charlie Heymann, Calluna,
Cliar, Catriona McKay&Simon Nieminski。2005 作。HarpHouse)
- *GORDON PATTULLO:Fair Play C
(70 年代から活躍するアコーディオン奏者。ダンス曲やパレード。91 作。Lapwing)
- *JAMES ALEXANDER:The Speyside Fiddler C
(Fochabers Fiddlers のリーダーでフィドルの J. Alexander の力。スコティッ
シュ・フィドルの香り高い純正スコティッシュ・フィドル・アルバム。純粋に土の香りの
するスコティッシュ・フィドルの味わいを味わいたい方への推薦盤。2005 作。
CD-R。Ross)
- *KAREN MATHESON:Downriver B
(w. Donal Lunny, James Grant, Donald Shaw, James Mackintosh,
Ewen Vernal。2005 作。Vertical)
- *SHONA MOONEY:Heartsense A
(2006 年 BBC Scotland の Young Traditional Musician 賞優勝の女性
スコティッシュ・フィドル奏者のデビュー作。w. Ian Stephenson, David de la
Haye, James MacKintosh, Ali Vase。2006 作。Foot Stompin')
- *SANDY MELDRUM:Scottish Piano Fusion B
(RSAMD の卒業生で天才的ピアニスト/アコーディオン奏者のデビュー作。スコ
ティッシュの名手達とアロパティックなセッションを繰り広げる一方で知らぬ曲で
のピアニスの良いしんみりとした泣き節も見事でまさに両刀
使い。2006 作。Greentrax)
- *DICK GAUGHAN:Redwood Cathedral (98 作。Greentrax) B
- *KATHRYN TICKELL+CORRINA HEWAT:The Sky Didn't Fall C
(ノースブリテン・スモール・イズ&フィドルの K. Tickell と先進的スコティッシュ・ハープ
の Corrina のデュエットはスコットランドとノースブリテンの伝統回帰かつ女性
的優美さに包まれた音楽。二人は思い出の曲や馴染み深い曲を慈
しむように演奏し、唄う。2006 作。Park)
- *JAMES ROSS:James Ross B
(スコットランドの若手トラッド音楽家の優良養成学校 RSAMD 卒業でその後
アイルランドのリリック大学でピアノを学んだという James のスコットランド音楽
と少しのアイルランド音楽のリズムとメロディーを自由に操り、お遊び感覚と
夢想感覚を織り交ぜた水玉のように軽やかに弾む自由なピアノの音

- 楽。Produced by Brian McNeil。2006 作。Greentrax)
- *JIMMY HUTCHISON: Corachree B
 (“Scots Songs&Ballads”シリーズ。2000 作。Traditional Beares)
 - *ALISON McMORLAND: Cloudberry Day B
 (“Scots Songs&Ballads”シリーズ。2000 作。Traditional Beares)
 - *ELLEN MITCHELL: On Yonder Lea B
 (“Scots Songs&Ballads”シリーズ。2002 作。Traditional Beares)
 - *EILIDI MacKENZIE: Eideadh Na Sgeulachd (92 作。Temple) B
 - *CHRISTINE PRIMROSE: Gun Sireadh, Gun Iarraidh B
 (2001 作。Temple)
 - *CLIAR: Grinn Grinn B
 (ガ-リック・シンガ-の親分 Arthur Cormack がリーダ-のガ-リック・シンギング・グループの Cliar の 2005 作。Macmeanmna)
 - *ARTHUR CORMACK: Ruith Na Gaoith (89 作。Temple) B
 - *ARTHUR CORMACK: Nuair Bha Mi Og (92 作。Temple) B
 - *STEVIE LAWRENCE: Standing Alone A
 (Iron Horse のギター奏者のソロ。2002 作。Lochsore)
 - *SILEAS: Harpbreakers B
 (本作は日本で録音され、キングより 1990 年に発売された後にスコットランドで発売された Sileas の 3 枚目。「かもめの水兵さん」の原曲収録。90 作。Lapwing)
 - *WENDY STEWART: Standing Wave (2003 作。Greentrax) A
 - *ALEX CAMPBELL: In Copenhagen B
 (65 年録音。65/2002 作。Storyville)
 - *EWAN MacCOLL: Solo Flight 72/2000 作。Topic) A
 - *BELLE STEWART: Queen Among The Heather A
 (副題“Scots Traditional Songs And Ballads”。76 年録音。77/98 作。Greentrax)
 - *BILLY CONNOLLY’S MUSICAL TOUR OF NEW ZEALAND ¥1500
 (SSW の B. Connolly のソロと想像しがちだが、実質的には Kate Rusby 作“Wandering Soul” [Kate がヴォーカル担当] 以外の作曲を手がけた John McCusker のソロ的色彩が濃いスコティッシュなトラッド・アルバム。演奏仲間はいつもの Andy Cutting, Ian Carr, Michael McGoldrick, Ewen Vernal, Andy Seward, Kris Drever に John Doyle, Phil Cunningham, James Mackintosh, Eddi Reader という揺ぎ無い顔ぶれ。全 17 曲。2004 作。Pure)
 - *FIONA KENNEDY: Maiden Heaven~Special Edition A
 (ケルティックなエンジェル・ヴォイスによる夢見心地スコティッシュ・トラッド。“Follow Me”のボーナス曲付。2004 作。Pixie)
 - *IAIN MACKINNON: Best Seat In The House AD
 (Lewis 島出身と思われる SSW の美しきフォーク・ロック。全曲本人又は Mike Merritt のソロだが、立ち昇る音楽性は Runrig 又は Donnie Munro に通じるもの。この Runrig 風なガッツある潔いそれでいてスコットランド独特な愁いのある伸びやかな Iain のヴォーカルとフォーク・ロックは気持ちいいもの。2003 作。Croft)
 - *SCOTTISH WOMEN A

- (2002年に行われた“Scottish Women”のライヴ音源を7人の音楽ディレクターを務めた Brian McNeil が編集したもの。シンガーは Margaret Bennett, Elspeth Cowie, Ray Fisher, Annie Grace, Corrina Hewat, Mackenzie, Ishbel MacAskill, Mairi MacInnes, Maggie MacInnes, Anna Murray, Karine Polwart, Sheila Stewart, Sheena Wellington。全16トラック。2004作。Greentrax)
- *CATHERINE-ANN MacPHEE: Canan Nan Gaidheal A
(女性がロックソングの傑作。93作。Greentrax)
- *SINGING IN THE STREET A
(副題“Scottish Children’s Songs”。Alan Lomax 他が1951~57年の間にフィールドレコーディングした56曲。デジタルリマスター。2004作。Rounder)
- *LASAIR DHE “Flame Of God” B
(ガールック語賛美歌をベースにしたガールックヴォーカルアルバム。コンサートライヴ盤。Ciar {Arthur Cormack, Mary Ann Kennedy, Ingrid Henderson, Maggie Macdonald, Bruce MacGregor, Chaz Stewart。唄も演奏も清々しい!}を中心に Kenna Campbell, Donnie Murdo のガールックシンガーの7人それぞれがロック合唱団による聖なる歌声。より人々の祈りの唄に近い賛美歌集。時折日本のご詠歌風。2001作。Macmeanmna)
- *WILLIAM JACKSON: Duan Albanach B
(Ossian のリーダーでスコティッシュハープの真髄を追求する屈指のハープ奏者 William {Billy} Jackson の New は前半が自身のハープとティンホイッスルの演奏集で後半は2002年の Celtic Connections のライヴ。2003作。Mill)
- *WILLIAM JACKSON: Celtic Chillout A
(とりわけケルティックな優美さに充ちたハープ曲を選び抜いた15曲入編集CD。ケルティックな夢心地... 2002作。EMI)
- *ANGUS LYON&RUARIDH CAMPBELL: Simple Tricks B
(共にチャンピオン奏者 {Angus はアコとピアノ、Ruaridh はフィドルとヴァイオリン}によるスコティッシュ味覚の憎い憎いデュエットで唸らせ、飲ばせる。古いスコティッシュの香りをキープしつつも演奏には若さと勢いがある。老若共に楽しめる見事のデュエットだ。w. Steve Lawrence, Duncan Lyall, Alan Train, etc. 2003作。Lochshore)
- *ISHBEL MacASKILL: Essentially Ishbel B
(Lewis 島出身のヴァレランガールックシンガーの Ishbel の4枚目は深くスコットランドの伝承歌に根ざした豊かで美しいガールックソング集。歌詞原詩&歌詞英訳付。2000作。Ishbel MacAskill)
- *SHOORMAL: Migrant B
(Joyce McDill, Freda Leask, Donna Smith それぞれのシンガーのヴォーカルがフィーチャーされたシエラランドのフォークグループ。2003作。Greentrax)
- *THE LAGGAN: I Am The Common Man B
(ヴァレラン・トラッドシンガーの Arthur Johnstone がヴォーカルの4人組。歌に真っ直ぐなフォーク〜トラッド。2002作。Lochshore)
- *LET SCOTLAND FLOURISH A
(Foot Stompin’ 所属アーティストの編集CD。全14曲。Cantrip, Liz Doherty, Corrina Hewat... 2003作。Foot Stompin’)
- *ANDY M. STEWART: Songs Of Robert Burns (89作。Wundertute) B
- *ANDY M. STEWART・MANUS LUNNY: Dublin Lady a

(87 作。Green Linnet)

- *DOMHNALL R MACASGAILL:Gloir An Uain C
(CD-R。副題“Traditional Gaelic Hymns&Psalms”。ガールックによるほ
ぼ無伴奏の祈りの唄。朗々とした唄声は澄んだ空気をも震わす。
2曲の合唱はご詠歌を思い出した…。2001 作。Beracah)
- *THE COMPLETE SONGS OF ROBERT BURNS VOL. 7(99 作。Linn) B
*THE COMPLETE SONGS OF ROBERT BURNS VOL. 8(99 作。Linn) B
*JANET RUSSELL&CHRISTINE KYDD:Dancin' Chantin' B
(名盤。94 作。Greentrax)
- *JIM REID:The Better O' A Sang B
(元 Foundry Bar Band でグエラン・トラッド・シンガー、J. Reid のトラッドを中心
にした琴線に触れるスコティッシュ・ソング集。全 19 曲。w. Stuart Duncan,
Scott Carnegie。96 作。Greylag Music)
- *JIM REID:Emfae Dundee B
(ギター、バズ・オー、コンサーティーナ、エレクトロニック・パイプ等全て J. Reid の演奏で、
ダンティイの町ことを唄ったもの。朗々とある時はコミカルに…。Jim の
ワマン・バンド“The Tha' Ui Dae Ceilidh Band”が大活躍。2001 作。
Greylag Music)
- *JENNIFER&HAZEL WRIGLEY:Dancing Fingers A
(オークニー島の Jennifer&Hazel 姉妹のこれが 1 枚目。91 作。Attic)
- *JENNIFER&HAZEL WRIGLEY:The Watch Stone(2 枚目。Attic) A
*BIRLIN' FIDDLES B
(メンバーは Jennifer Wrigley, Alan Henderson, Julia Legge, Sandy
Wright。Foot Stompin')
- *THE ORKNEY SESSIONS A
(“From the Ayre Hotel”。毎年 5 月下旬に開かれている「オークニー・フォー
ク・フェス」のメイン会場になる Ayre Hotel。その枠に集うトラッド・ミュージシ
ョン達によるセッション・ライブ。全 40 曲。アイリッシュ・パブならぬオークニー・パブの熱
気。95 作。Attic)
- *THE EASY CLUB:Chance Or Design B
(85 年作の 2 枚目。オランダ Frea)
- *BOGHALL&BATHGATE CALEDONIA PIPE BAND
: Inspired In Belfast(2001 作。Monach) A
*ALBERTA CALEDONIA PIPE BAND:They Took Their Leave A
(2001 作。Monach)
- *FRED MORRISON:The Sound Of The Sun(Lochshore) A
*THE GAUGERS:No More Forever C
(ヴェテラン・トラッド・バンド“Gaugers”の 4 枚目。ライブ等彼ら
録音曲の中でも選りすぐりの録音曲を編集し、故 Peter Hall に捧
げたアルバム。2000 作。Sleepytown)
- *ANNE MARTIN:Co. . ? A
(副題“Gaelic Song from the Isle of Skye”。人気盤。w. Fiona
MacKenzie, Sandra MacKay, Iain MacDonald, Malcolm Jones,
Ingrid Henderson, Iain MacFarlane, etc. 98 作。Whitewave)
- *ELSPETH COWIE:Naked Voice A
(Chantan, Seannachie のヴォーカルで“Complete Robert Burns”でもお

- 馴染みのトラッド・ソング-の正にタイトル通りの化粧なしのトラッド集{1曲
S. Denny 作“Fotheringay”を含む}。歌詞&解説付。Scotfolk)
- *WORLD LIBRARY OF FOLK&PRIMITIVE MUSIC “Scotland” B
(Compiled&Edited by Alan Lomax。98作。Rounder)
- *SHEILA STEWART:From The Heart Of The Tradition A
(スコットランドの偉大なトラッド・ソング-故 Bella Stewart の娘 Sheila
[1937年生まれ]のハリのある孤高のソング。全曲無伴奏。“Queen
among the Heather”, “Blackwaterside”, “Glencoe”, “The
Nobleman’s Wedding”等トラッドの重要曲全20曲。詳細解説付。2000作。
Topic)
- *ANNA MURRAY:Out Of The Blue(94作。Lochshore) A
- *ANNA MURRAY:Into Indigo(96作。Lochshore) A
- *ANNA MURRAY:Tri Nithlean(99作。Lochshore) A
- *CALANAIS ¥1680
(ルイス島の古代巨石保存を目的に制作された編集CD。Sileas, Dougie
Maclean, Phil Cunningham, Anna Murray, Blair Douglas, Martin
Taylor, Mary Smith, Ian Stephen, etc. 95作。An Lannatair)
- *ROBIN LAING:Imaginary Lines A
(エディンバラ出身のフォークソング-R. Laing の4th。w. Ammy Geddes, Brian
McAlpine, Wendy Wethery, etc. 99作。Greentrax)
- *JEAN REDPATH:Think Of Me A
(心の奥底にまで響くスコティッシュ・ソング集だ。w. Sue Richards {ハーブ}、
Abby Newton {チェロ}、Jay Unger {フィドル}、Jacqueline Schwab {ピアノ}。
全16曲。歌詞&曲目解説付。98作。Jean Redpath)
- *ROBIN WILLIAMSON:Ring Dance A
(Incredibleファン好みの会心の作。98作。Pig’s Whisker)
- *ROBIN WILLIAMSON:Memories(7曲入。97作。Pig’s Whisker) ¥525
- *DANNY KYLE:Heroes And Soft Targets A
(人間味漂う中年フォークソング-。ギター&ハンジューの弾き語りでお和らさせ
る。SSW 調からトラッド調まで、マイペースで気持ちいい。98作。Iona)
- *CEOL NA PIOBA-PIOB MHOR B
(副題“A Concert of Piobaireachd from the 1999 Edinburgh
International Festival”。2000作。Greentrax)
- *THE WORLD PIPE BAND CHAMPIONSHIPS VOLUME 1 1998 A
(Nonarch)
- *THE WORLD PIPE BAND CHAMPIONSHIPS VOLUME 2 1998 A
(Nonarch)
- *SOUTHERN GAEL “Dalewool Auckland&District Pipe Band” A
(ニューゼーランドのパイプ・バンド・チャンピオン。Nonarch)
- *WOLFSTONE:Wolfstone(1994作。Celtic Music) D
- *NORTHERN LIGHTS “Live From The Lemon Tree” A
(Old Blind Dog, Tony McManus, Tannas, Anna Murray, Iron Horse,
Drop The Box, Conterach, Lorelei によるライヴ。1996作。Lochshore)

[CD/USA {トラッド、アパリアン他}]

*MR. MARTIN SIMPSON & MR. DOM FLEMONS

:A Selection Of Ever Popular Favourites A

(2015年の秋に Martin Simpson と Carolina Chocolate Drops の創設メンバーでアメリカン・ソングスターの Dom Flemons がデュオを組んで、コンサートを行ったときのライヴ。曲目は米国の白人黒人の枠を超えた古き良き音楽。Martin ファンが聴けば、Martin の米国趣味の音楽に大衆性が増したように聞こえて、面白いだろうし、Dom Flemons のファンが聴けば、米国庶民の古き良き娯楽音楽に品性が備わったように感じられて、新鮮な印象を持つだろう。米英の個性派が混ざり合っ、ある種異種交配的な面白さもある米国の古き大衆音楽の世界だ。2016 作。Fledg'ling)

*DANA LYN & KYLE SANNA: The Great Arc A

(Dana Lyn [フィドル、ヴァイオリン] と Kyle Sanna [ギター] のアイルランド系ではない二人の才能ある演奏家兼作曲家による耳に新鮮なアイリッシュ。二人が共演した演奏家は Martin Hayes & Dennis Cahill, Cillian Vallely, Kevin Burke, Susan McKeown。彼らのアイリッシュのベースになる音楽は、Martin Hayes & Dennis Cahill。Dana は Martin Hayes スタイルのフィドルを感性優先で膨らませ、Kyle はアイリッシュにとられない独自のギター演奏で飾る。Dana&Kyle の Martin&Dennis+α の独創性を加えたアイリッシュ風音楽もすこぶる魅力的。ゲスト: Mick McAuley。米国盤だが、ラップ包装無し。2015 作。Dana Lyn&Kyle Sanna)

*OLD SALT: Up River Overseas A

(Old Salt は米国人一名、スコットランド人一名、ベルギー人三名、スウェーデン人一名で二姫四太郎の六人組。核になる音楽は米国人シンガーでバンジョーとフィドル担当の Dan Wall の音楽性、それはアパラチアン音楽とオールドタイム・ミュージック。Dan Wall 自身がその系統のシンガーとして、ミュージシャンとして秀でた才能の持ち主で、他国の音楽仲間の手を借りて、その系統の音楽の最前線のハイブリッドな音楽を創作していて、お見事。加えて、ヨーロッパの古風なジプシー音楽のサウンドもご披露。2016 作。Appel)

*THE LASSES: Daughter A

(オランダの女性フォーク・デュオだが、便宜上ここで。二人ともヴァーカル&ギター Margot Limburg&Sophie ter Schure の二人がうたうのは、米国、イングランド、スコットランド、アイルランドの伝統歌と Kate Rusby や Richard Thompson 等のフォーク系シンガーの作曲曲。計 13 曲。ユニークなのは、二人のフォークは米国トラッド/フォークっぽいこと。アパラチア民謡風というか、ある種米国フォークの原点的な滋味豊かなフォークの味わいは格別。2015 作。The Lasses)

*LINDSAY STRAW: My Mind From Love Being Free A

(ボストンのアイリッシュ・バンドの Ivy Leaf のメンバーで、シンガーでギター&ブズーキ奏者の Lindsay Straw 嬢のソロ。本作はこの約 10 年の間に彼女が熱中して来た英国とアイルランドの伝

統歌をギターやブズーキーの弾き語りであつたもので、ブリティッシュ・フォーク風の芳香と清涼さ放つサウンドを伴って、彼女の朝露のように清々しく、まっすぐな唄たちは、心の中にずっとしみ通る。まるで、彼女が初めて伝統歌と出逢ったときの初々しい感動が、そのまま表現されたかのように、一曲一曲が芯が強く、清く、美しい。CD 収納型紙ジャケット 2015 作。Lindsay Straw)

*GALLOWGLASSES: Mortar Bricks And Lime A

(二枚目が人気の米国サンフランシスコの四人組ケルティック・トラッド・バンド "Gallowglasses" の一枚目。メンバーは、Lee White {ヴォーカル、フィドル}、Donovan Ryan {ヴォーカル、ギター}、Michael McNelly {ブズーキー、マンドリン} そして Molly's Revenge の Mark Boronkay {ギター、マンドリン}。こちら一枚目は Donovan Ryan with Gallowglasses 的内容で、ヴォーカルの Donovan の音楽性、それは Andy Irvine の音楽性と重なり合う。ブズーキーをフィーチャーしたサウンドといい、Andy 風のシンギングといい、アイリッシュとフォークの両要素をバランスよくブレンドされていて、円やかに落ち着いた味わいのアイリッシュ風トラッド/フォークを醸成している。最後の "Paddy's Green Shamrock Shore" は Paul Brady 風ですがね。CD 収納型簡易紙ジャケット。2013 作。Gallowglasses)

*MOLLY'S REVENGE: The Western Shore a

(John Doyle がプロデュースの本格的ケルティック・ミュージック・アルバム。アンサンブルの醍醐味と味わいはアイルランドやスコットランドのトップ・バンドの風格。ダンス曲を中心とした演奏のみならず、2 曲でヴォーカルを取る Moira Smiley のしっとりとした凜としたシンギングが素晴らしい。Paul Brady の名唱でお馴染みの "I Am A Youth Included To Ramble" はトラッド・ファンを骨抜きにする。北米に凄いバンド。2008 作。Molri Music)

*ALICE GERRARD: Bittersweet A

(かれこれ 40 年以上にわたって、アメリカン・ルーツ音楽の第一線で活動してきた Alice の 10 年ぶりの本作は、全曲自作曲の深い味わいのある素晴らしい SSW/フォーク・アルバム。体の中から湧き上がるようなリラックスした唄は、いぶし銀のアメリカン・ルーツ・サウンドを伴って、ある時は心に沁み、またある時は心を和らげ、またある時は心をほがらかにさせる。いぶし銀のアメリカン・ルーツ音楽の名品だ。w. Laurie Lewis, Stuart Duncan, Bob Ickes, Bryan Sutton, Todd Phillips, Tom Rozum, etc. 2013 作。Spruce And Maple Music)

*SARA GREY: Down In Old Dolores A

(一曲目の "Bright Sunny South" 米国古謡の世界にどっぷり。バンジョーを弾きながらうたう、この素朴な古謡が何とも渋くて良い味わいなのだ。Sara が長年米国の古謡を収集し続けて生まれた素晴らしい米国古謡の世界。w. Kieron Means {ギター、ヴォーカル}、Ben Paley {フィドル}。曲目解説付。全 15 曲。2014 作。Fellside)

*MINNIE & THE ILLYWHACKERS: Make Me Yours A

(アイルランドからご機嫌なオール・アメリカン・ミュージック "ショー" バンドが登場。ユニークなのはウケルがフィーチャーされていて、古臭いジャズ等でスウィングしていること。ウケルが音頭を取る中、古っぼいジャズやカントリーやブルースやポピュラー・ミュージック等がほどよく混ざり合った文字通りのゲットタイム・ミュージック。サウンドのすべてがリスムが楽しく躍るように心地よい。

古っぽい音楽の心地よさも最高だが、シガーの Minnie の唄はピア色の古色を帯びつつも、風に乗るような軽やかな歌声でうっとり。2013 作。Rualla)

- *WILLIAM PINT & FELICIA DALE:Blue Divide A
(Whiskey Is The Life Of Man”で華々しく幕開けする W.Pint {ウォーカ、ギター、マンドリン}&F.Dale {ウォーカ、ハーモニカ、ギター、フィドル、ホイッスル} の新譜は、海の生活と海の唄を愛する二人の気持ちが上気した唄と、そんな唄と一体化したケティック・ロックにばっちり生き写しされている。この喜びに満ちた唄と音楽はもう滅茶苦茶最高。William のウォーカなんぞは、舌がもつれるのでは？と心配になるほど、うたいまくっている。音楽もノリがよくって、踊りだしたくなってしまふほど。海好きの音楽ファンのみならず、全トラッド・ファンは上昇気流を巻き起こす重層的ケティック・サウンドに血わき肉おどるに違いない。夏はこれを浴びて、海水浴気分！2013 作。Waterbug)
- *PATRICK BALL:The Wood Of Morois B
(P.Ball が爪弾く金属弦ハープによるほぼ「ケルト」回帰の本作は、音色の一音一音が細やかで美しく、それぞれの地域の音楽の特性を擁護しつつ、優麗な音色で奏でたこの上なく美しいケティック・ハープ・ミュージックアルバムとして結実している。2010 作。Celestial Harmony)
- *HANNEKE CASSEL:For Reasons Unseen A
(ホストン生まれの米国スコティッシュ・フィドル・チャンピオンでアイリッシュ・グループの Cathie Ryan Band でも活動するスコティッシュ・フィドル+アイリッシュ・フィドル+オリジナリティーで一步先を行く美人フィドラーの華のあるケティック・フィドル・ミュージック。w. Alasdair Fraser, Natalie Haas, Rushad Eggleston, Casey Driessen, Brittany Haas, Keith Murphy, Aoife O’Donovan。2009 作。Hanneke Cassel)
- *EUROPEAN WORLD OF BLUEGRASS 2006 A
(ヨーロッパと北米のブルーグラス・グループの編集盤。全 25 曲。2006 作。オランダ Strictly Country)
- *ROBIN & LINDA WILLIAMS:Live In Holland A
(92 作。オランダ Strictly Country)
- *SKYLAND:Moon Over The Water (2003 作。オランダ Strictly Country)
- *CONNIE DOVER:The Border Of Heaven (2000 作。Taylor Park) A
- *RACHEL HARRINGTON:The Bootlegge’s Daughter A
(2008 年作の“City Of Refuge”が好評の Rachel の 2007 年作のデビュー作。Rachel は不思議な物語や彼女が住むオゴン周辺の田舎生活を送る彼女の個人的な唄などを古い伝承歌を口づさむように淡々と唄う。音楽性は様々だが、自身の足場に立脚し、時代を縦に眺めた田舎娘らしい天真爛漫な音楽が楽しい。2007 作。Skinnydennis)
- *KELLY CARMICHAEL:Queen Fareena A
(古き良きアメリカン・ミュージックの世界へと誘うくすぐったいほど馬鹿馬鹿しく愉快的な音楽。バンジョーやギターを爪弾きうたう Kelly の頭の中はラガタイムや古いテール・ブルースやストリング・バンドのブルースやデイクシー等が鳴り響いているに違いない。まるで 18 世紀か 19 世紀のミシシッピ川を遊覧する豪華客船の娯楽バンド。古き良きアメリカン・ミュージックの最高“お笑い”傑作。2008 作。Dogstreet)

- *TODD MENTON:Where Will You Land a
 (元 Boiled In Lead の T. Menton の 2003 年作。アメリカン・フォークであろうが、ブリティッシュ・トラッドであろうが、アイルッシュであろうが、シー・シンテであろうが、向かう姿勢が根源的。アパラチアの山奥に引き込んだと思いきや今度はパワフルなフォーク・ロックで歓喜させる。2003 作。New Folk)
- *LEHTO & WRIGHT:The Thrashing Machine a
 (Lehto&Wright の二人組。アコースティックとエレクトリックが混在しているが、沸き上がる香りはヴォーカルを含めて気高いブリティッシュ・トラッド。Richard Thompson や Dick Gaughan や Christy Moore のレパートリーやトラッドを毅然とカッコ良く演唱する。Lehto はエレキ・ギターもカッコイイがアコースティック・ギターも素晴らしい。完璧に二人の想い入れの強い憧れのブリティッシュ・トラッド的美意識で律せられている。2007 作? New Folk)
- *LAURA MacKENZIE:Evidence A
 (アイルッシュ・フルトを中心に各種バグパイプを演奏し、ゲリラックを含む唄もうたう Laura の本作はアイルッシュを中心にスコティッシュそしてブルネウ等ケルト圏の唄と音楽を共演者をとっかえひっかえ演唱する。共演者は Altan の Daithi Sproule [ギター、ヴォーカル], Dean Magraw [ギター], Andrea Stern [ハープ], Dick Ree [アコ], John Wright [ベース], Sean Egan [クラリネット]。2003 作。New Folk)
- *GOLDEN BOUGH:Far From Home (Golden Bough Music) A
 *GOLDEN BOUGH:Live B
 (25 周年記念ライブ。全 14 トラック。2006 作。ARC Music)
- *JODY MARSHALL:Cottage In The Glen A
 (Magical Strings のような身を清められるようなケルティック・アンサンブルからダブ・インミックなケルティック・アンサンブル。Jody の H. ダルマーはうたいおどる。共演者は Grace Griffith, Amy White, Al Petteway, Karen Ashbrook, Zan MacLeod, etc. 2007 作。Maggie's Music)
- *JEAN RITCHIE:Field Trip A
 (1954 年作の再発 CD。全 21 曲。54/2001 作。Greenhays)
- *SYLVIA HEROLD&EUPHONIA:Lovely Nancy A
 (Wake The Dead のヴォーカルでウェラン・トラッド・シンガーの 3 枚目。Euphonia のメンバー 3 人の内二人は Wake The Dead のメンバーで Wake のホースの Danny Carnahan も数曲でデュエットでお手伝い Sylvia の姿勢はよりシンガーとして伝承歌の本質に迫る真摯なもので一曲一曲が心に迫るもの。2005 作。S. Herold)
- *MAGICAL STRINGS:Where Dragons Dance ¥500
 (結成 25 周年の Magical Strings の本作は彼等の集大成的であると同時に新たな地平を予感させる音楽。Grainne Hambly や Liam O'Flynn や Mary Bergin 等のアイルッシュ・ダンス曲やブラスケット島のアイルッシュ・エア等アイルッシュをベースにマダガスカルのアリをフィーチャーした異国情緒な音楽に加え、中国風味のタイトル曲とモンゴルの曲"Gandii Mod"等も。CD-ROM 機能では"25 Years of Family, Friends, Loving&Sharing"と題が付され、アイルランドの島でのスナップ写真を中心に故 Derek Bell との写真や家族の写真が閲覧できる。2004 作。Alula)
- *MAGICAL STRINGS:Legend Of Inishcahey A
 (西アイルランドの音楽にインスピレーションを得た Magical 独特なケルティック・ミュージック)

ックの世界。99 作。Magic Hill Music)

- *KEN KOLODNER:Journey To The Heartland A
(ヴェテラン・ハンマー・ダルマー奏者によるアパラチア&オールドタイムからケック&ケープ・ブレトンそしてスコットランドまで姉妹音楽の旅。自分のルーツの視点から姉妹音楽に全身全霊でアプローチしてるのが偉い。w. Robin Bullock, Laura Risk, Elke Baker, Paddy League。2005 作。Maggie's Music)
- *DEBRA COWAN:The Long Grey Line B
(彼女のシンギングは Ray Fisher, Gordeanna McCulloch, Christine Kydd 仕込み。主にイングランド、スコットランド、アイルランドのトラッドを澄んだ美声と情緒あるアコースティック・サウンドで酔わせる。2001 作。Debra Cowan)
- *BOILED IN LEAD:Alloy ¥2980
(希少録音曲を含む Boiled In Lead の 15 年の歴史をまとめた 1000 枚限定ハード・ボックス入 3 枚組 CD。内 1 枚はライブ。全 48 曲。ボックスに 1000 枚の内の何枚目かの番号が打たれている。98 作。Omnium)

[DVD/CANADA] NTSC all regions

※国内製 DVDプレーヤーで再生可能

- *ASHLEY MacISAAC:Live At The Rehearsal Hall B
(Ashley MacIsaac&band によるスタジオ・ライブ。ロック・バンドを従えての血沸き肉おどるライブ。圧巻。2002 年 5 月収録。57 分。Linus)

[CD+DVD/CANADA (Celtic)] PAL all regions

- *LOREENA McKENNITT:Nights From The Alhambra ¥2980
(2006 年 9 月スペインのアルハンブラの宮殿でのライブ。2 枚組 CD と 1 DVD のセット。CD は DVD のオーディオ版。全 18トラックで DVD は 140 分。w. Nigel Eaton, Brian Hughes, Steafan Hanningan, Hugh Marsh, Panos Dimtrakopoulos, Sokratis Sinopoulos, Haig Yarzdzian, etc. 2007 作。Quinlan Road)

[CD/CANADA {トラッド他}]

- *FASTA:Un Canadien Errant B
(カナダの“Traditional Singer of the Year”賞受賞のケベックの女性トラッド・シンガーでフィドラーの Sophie Lavoie とケベックのギタリストの André Marchand とコネマラ出身のアイルランド人イリアン・パイプス&バンジョー奏者の Fiachra O' Regan のトリオ。ケベックのトラッドとアイリッシュが混ざり合った音楽の意外に新鮮で爽快なこと！Sophie のシンギングとフィドルはケベック・トラッドの伝統の味わいを披露しつつも、音楽はアイリッシュのノリを混ぜ合わせていて、例えば、100 年、200 年前、カナダに移り住んだフランス&アイルランド移民が互いの音楽を持ち寄って、楽しんで創り上げた音楽のような、凄く魅力的で心に響いて、楽しめる音楽。2016 作。Fasta)
- *TICKLE HARBOUR:Battery Included A
(Tickle Harbour の創設者は Red Island の創設者でギタリストの Don Walsh で、Tickle Harbour でヴォーカル、ギター、バウロン、コンサティナ他を担当する Fergus O' Byrne は元 Ryan's Fancy。二人を除いた他のメンバー

-は Vonnie Barron{ヴァーナル}、Patrick Moran{パトリック・モラン}、Gerry Strong{ゲリー・ストロング}、Francesca Swann{フランческа・スワン}。驚くのは曲の多数を占める各種ダンス曲の演奏の素晴らしさだ。Chieftainスタイルだが、演奏力が卓越している上に、音楽のエネルギーはパブ・セッションのテンションの高さをキープしている。ゲスト:Seamus Creagh, Paddy Keenan 他。1998年。Singsong)

- *LE VENT DU NORD:Tetu B
(ケック・トラッド・バンドのLe Vent Du Nordの通算八枚目に当たる新作。これまでもそうだったが、Le Ventは4人編成{楽器編成はギター、ブラス、ハーモニカ、アコ、ベース、ホルン、フルート、フィドル、マンドリン他}で固め、ケック・トラッドのルーツの音楽を固持し、ケック・トラッド特有のダンス音楽のリズムを最大限に生かし、活気ある今日のケック・トラッドを創作する。ダンスのリズムに乗ってうたわれる唄の数々はケック・トラッドの独特な味わいを発散する。2015年作。Borealis)
- *WENDY MacISAAC:Off the Floor C
(ケブ・ブレトンのフィドルの名手のWendy MacIsaacのおよそ10年ぶりの新作。Tracey Dares MacNeill{トレイ・ダース・マクニール}とPatrick Gillis{パトリック・ギリス}を誘って、ライブ録音盤を出そうと録音を始めたのが、2005年。この年に録音したのが最初の5トラック。そしてそれから9年後に二人を誘ってまた録音。滅茶苦茶凄い。皆さん、カナダの東の端まで行かずとも、ケブ・ブレトンの音楽が疑似体験できますよ。2014年作。Wendy MacIsaac)
- *MARY JANE LAMOND:Suas E! (1997年作。カナダA&M) A
- *LE REVE DU DIABLE:Delires Et Des Reels A
(79年作の3枚目。彼等のケック・トラッド色濃厚な土臭い演唱は今聴いても鮮烈。ケック・トラッドの模範。79年作。Tamanoir)
- *LOREENA McKENNITT:Elemental A
(リマスターマルチメディア機能付CDとDVDの2枚組。限定盤。85/2004年作。Quinlan Road)
- *LOREENA McKENNITT:Parallel Dreams A
(リマスターマルチメディア機能付CDとDVDの2枚組。限定盤。89/2004年作。Quinlan Road)
- *LOREENA McKENNITT:The Visit A
(リマスターマルチメディア機能付CDとDVDの2枚組。限定盤。91/2004年作。Quinlan Road)
- ※DVDは国内プレイヤー再生可能。
- *LOREENA McKENNITT:Winter Garden a
(5曲入CDシングル。95年作。Quinlan Road)
- *ANDREA CAPEZZUOLI E COMPAGNIA:Suonato Coi Piedi! C
(イタリアのケック・トラッド・バンド。La Bottine SourianteやLe Vent Du Nordとも交流のある本格派だ。2008年作。FolkClub Ethnosuoni)
- *THE BARRA MacNEILS:Christmas Album A
(軽快なジグで幕開けするMacNeils兄妹バンドによるクリスマス・アルバムはアイリッシュ〜ケブ・ブレトンの伝統音楽色を色濃く打ち出しつつ、クリスマスに家族兄弟で祝う優しさと楽しさ溢れるもの。ゲール語のアカペラやステップ・ダンスも有り。クリスマスにケブ・ブレトンの伝統音楽一家の楽しいクリスマ

- ス・ケリーに迷い込んだ感触。2006 作。Fontana)
- *THE BARRA MacNEILS:Rock In The Stream(89 作。PolyGram) A
 - *THE BARRA MacNEILS:Closer To Paradise(93 作。PolyGram) A
 - *THE BARRA MacNEILS:The Traditional Album A
(94 作。PolyGram)
 - *THE BARRA MacNEILS:The Question(95 作。PolyGram) A
 - *THE BARRA MacNEILS:Racket In The Attic A
(2000 作。Barratone)
 - *NATALIE MacMASTER:Fit As A Fiddle B
(カガ 盤原盤にて入荷。93 作。カガ Warner)
 - *NATALIE MacMASTER:My Roots Are Showing B
(カガ 盤原盤。98 作。カガ Warner)
 - *NATALIE MacMASTER:In My Hands B
(カガ 盤原盤。99 作。カガ Warner)
 - *NATALIE MacMASTER:No Boundaries(96 作。WEA) B
 - *NATALIE MacMASTER:Blueprint(2003 作。Rounder) A
 - *PAMELA MORGAN:On A Wing And A Prayer B
(ニューファンク・ラントのトット・ロック・バンドのヴォーカル、Pamela のたおやかな声。
うっとり…。"Blackwater Side"を含む 11 曲。96 作。A&M)
 - *FIGGY DUFF:Weather Out The Storm(3rd。宝物。Amber Music)A
 - *FIGGY DUFF:Down Stream(4th。Amber Music) A
(フェアポート・スタイルのニューファンク・ラントのフォーク・ロック・バンドの老舗)
 - *KATE AND ANNA McGARRIGLE
:The McGarrigle Christmas Hour A
(Kate&Anna のクリスマス・アルバム。Rufus&Martha Wainwright もほとんどの
メンバーでヴォーカル参加。今昔家族の写真を眺めながら聴こえてくる音
楽は Kate&Anna の家庭的だが、ひと味もふた味も違うクリスマス音楽。
2005 作。Nonesuch)
 - *ASHLEY MacISAAC:Close To The Floor(デビュー作。92 作。A&M) A
 - *ASHLEY MacISAAC:Hi How Are You Today? A
(95 作。Ancient Music)
 - *ASHLEY MacISAAC:Fine Thank You Very Much A
(96 作。Ancient Music)
 - *ASHLEY MacISAAC:Ashley MacIsaac B
(神懸り。絶品。w. Mary Jane Lamond, Lisa MacIsaac, etc. 2002 作。
Decca)
 - *ASHLEY MacISAAC:Live At The Savoy B
(ケーブ・ブレトン・フィドラー回帰の Ashley のすっぴんフィドル・ライブ。入魂の
ケーブ・ブレトン・フィドル! 2004 作。Linus)
 - *STAN ROGERS:From Fresh Water(宝物。84 作。Fogarty's Cove)B
 - *STAN ROGERS:Poetic Justice(宝物。96 作。Fogarty's Cove) B
 - *STAN ROGERS:From Coffee House To Concert Hall B
(未発表ライブ集。全 20 曲。99 作。Fogarty's Cove)
 - *HART-ROUGE:Jai Fait Un Reve B
(フレンチ・カナディアン・トット・バンドの Hart-Rouge の本作ハイテクの機械的な、
あるいはロックっぽい、あるいはアフリカンっぽい味付けで挑発的。2001

- 作。Universal)
- *RAWLINS CROSS:Reel'n' Roll(93作。Ground Swell) A
 - *RAWLINS CROSS:Living River (96作。Ground Swell) A
 - *RAWLINS CROSS:Celtic Instrumentals(97作。Ground Swell) A
 - *DAVE MacISAAC:Nimble Fingers C
(D. MacIsaac は知る人ぞ知るケブ・ブレtonのケルティック・ロック・ギターの名手。得意のフェンダーのエレクトリック・ギターのケルティック・ロックとアコースティック・ギター、フィドル、マンドリン、トブロー等によるアコースティック・ケルティック・トラッドの両刀使いで唸らせる。全19曲。95作。Pickin' Productions)
 - *RITA&MARY RANKIN:Lantern Burn(デビュー作。宝物。Ingold) C
 - *RON HYNES:Face To The Gale A
(Mary Blackの名唱で有名な"Sonny's Dream"の作者。"Sonny's Dream"も収録のケルティック・トラッド系SSWの97年作。w. Pamela Morgan, etc. 97作。EMI)
 - *ANITA BEST:Crosshanded A
(民謡研究家でトラッド・シンガー、Anita 女史の無伴奏ソロ。ニューファンドランドの伝承歌集。w. Pamela Morgan. 曲目解説付。97作。Amber)
 - *YVES LAMBERT:Les Vacances De Monsieur Lambert A
(La Bottine Sourianteのリート・シンガー&ホックス奏者Yvesの懐の深いソロ。傑作。98作。Mille-Pattes)
 - *LES BATINSES:Tripotages(2000作。Mille-Pattes) A
 - *LES REJOUISSANCES C
(2枚組CD。70年代活躍したケックのトラッド・バンド/フォーク・ミュージシャンによるライヴ。Le Reve Du Diable, Alain Lamontagne[彼は約20年前当時八王子の姉妹リソを訪れたことがある、ハーモニカを持って]、Quebreizh, Michael Garneau, etc. 77録音。Tamanoir)

[CD/AUSTRALIA]

- *KATE BURKE&RUTH HAZLETON:Swapping Seasons B
(オーストラリアの女性ヴォーカル・デュオの珠玉の3枚目。2002作。Kate&Ruth)
- *KATE BURKE & RUTH HAZLETON:Summer's Lonesome Tale B
(音楽的にはアイルランドとイギリス系フォーク・ミュージックとアメリカのホルド・タイム・ミュージックの要素がスムーズにブレンドされたKate&Ruthの2007作。Paul Bradyの名唱でお馴染みの"I Am A Youth That's Inclined To Ramble"や"Barbara Allen"や"The Cookoo"等の伝承歌他全11曲。どれも唄の背景の土地のフォーク・ミュージックの土臭さを伴ってKate&Ruth流にそれぞれ耳に心地よくかつ新鮮。ゲスト:Andy Irvine, Bruce Molsky. 2007作。Tradsville)
- *JEFF LANG:Half Seas Over A
(オーストラリア人ギター奏者でSSWのJ. Langの本作はアメリカのフォークやブルースの根源へと一心を傾けた謙虚な傑作。集中力ある細心のギターの絶妙さにも心奪われるが、Jeffの物語を語るような唄の間と空気感が素晴らしい。ギターの音も唄も心に沁み渡る。2008作。Furry)
- *PAUL TURNER:Clear Blue A
(第一印象はNick Drakeっぽい。Paulの唄は徹底して美しい。光を求

めて旅するような唄の世界で、アコースティック・ギターとエレキ・ギターの音色も調べも、彼の唄に相応しく、輝いている。星が一本の木にいっぱい生っているジヤットというジヤット意匠そのままの夢見心地の唄と音楽。至福。2008 作。White Lotus)